

TIJ ハンディープリンタ MoTix 1H

取扱説明書



販売元： **GENERAL** **ゼネラルサプライ株式会社**

目 次

1. ご使用に関する注意	1
2. 技術仕様	
2.1 製品仕様	2
2.2 特殊機能	2-3
2.3 プリンタ各部名称	3
3. セットアップ	
3.1 バッテリーの充電	4
3.2 プリンタ本体にバッテリーをセットする	4
3.3 インクカートリッジをセットする	5
3.4 電源を ON/OFF する	6
4. 印字の開始 / 停止	
4.1 印字する	6-7
4.2 印字を停止する	8
5. 機能説明	8
5.1. メッセージ管理	
5.1.1 メッセージリスト	8-9
5.1.2 新規メッセージ作成 / メッセージ編集	10
5.1.2.1 テキストオブジェクトの編集	10-14
5.1.2.2 バーコードオブジェクトの編集	14-15
5.1.2.3 GS1 オブジェクトの編集	16
5.1.2.4 ロゴ オブジェクトの編集	17-18
5.1.2.5 カウンター オブジェクトの編集	18-19
5.1.2.6 日付 オブジェクトの編集	20
5.1.2.7 シフト オブジェクトの編集	21
5.1.2.8 図形 オブジェクトの編集	22
5.1.2.9 DB オブジェクトの編集	23
5.1.2.10 String オブジェクトの編集	24
5.1.3 オペレーション管理	25
5.1.4 メッセージ設定スクリーンの表示	26
5.1.5 ツールバー	26
5.2. 印字管理	
5.2.1 ディレイ	28
5.2.2 イニシャル	28
5.2.3 再印字	28
5.2.4 USB デバイス	29
5.2.5 プリントプラン	30

5.3. 設定	
5.3.1 印字パラメーター	
5.3.1.1 ベーシック設定	31
5.3.1.2 プリントオプション	32
5.3.1.3 ライン設定	33
5.3.1.4 特殊印字	33-34
5.3.2 システム設定	
5.3.2.1 設定管理	35
5.3.3 メッセージ フォーマット	
5.3.3.1 シフト フォーマット	35
5.3.3.2 日付 フォーマット	36
5.3.4 機能設定	37
5.3.4.1 メッセージ管理	37
5.3.4.2 オブジェクト管理	37
5.3.4.3 編集 Config/ Default Setting	38
5.4 ステータスバー	
5.4.1 カートリッジ管理	38
5.4.2 フォトセル	39
5.4.3 エンコーダー	40
5.4.4 スリープ	40
5.5 文字入力	40-41
6. スキャンプリント機能 ※SCAN モデルのみ	42
6.1 バーコード、QR コードの内容を印字	42-43
6.2 バーコード、QR コードをスキャン、複製したバーコード、QR コードを印字	44-47
6.3 スキャンデータベース	48-50
7. バックアップ・復元	50
8. トラブルシューティング	51
9. 用語について	52-53
10. 品質保証期限について	53
10.1 保証範囲	53
10.2 保証適用対象外	53
11. 同梱品	54

1. ご使用に関する注意



導入にあつての注意事項

- ・プリンタ（インクカートリッジ）のプリントヘッド（インクが吐出される部分）と印字対象物との推奨距離は 0.5-2.5mm です。プリントヘッドが印刷対象物と接触したり、離れ過ぎるとうまく印字できなかつたり、印字品質が低下する可能性があります。
- ・インクカートリッジを装着時及び、取り外す時は、必ずインクカートリッジを約 30 度の角度で脱着してください。
- ・粉塵の多い環境で長時間使用される場合は、定期的に清掃を行ってください。



使用上の注意事項

- ・タッチスクリーンを硬い物で触れないようにしてください。
- ・印字抜けや印字カスレが発生した場合は、インクカートリッジのプリントヘッド（インクが吐出される部分）の表面を柔らかい布等で拭いてください。
- ・印字位置がズレる場合、ディレイ機能を利用して、印字位置を調整してください。
- ・印字中にインクカートリッジを取外しないでください。必ず、印字を停止してから取外してください。インクカートリッジが損傷する可能性があります。
- ・タッチスクリーンをエアードスター等のスプレーで清掃しないでください。タッチスクリーンに損傷を与える可能性があります。
- ・インクカートリッジをエアードスター等のスプレー、水分を含んだ布等で清掃しないでください。インクカートリッジ内部に空気や水分が混入し、印字不良を発生させる可能性があります。
- ・長時間、印字を行わない場合、インクカートリッジをプリンタ本体から取外し、透明カバーを装着、プリントヘッド部分（インクが吐出される部分）を上向きにして、保管してください。

2, 技術仕様

2.1 製品仕様

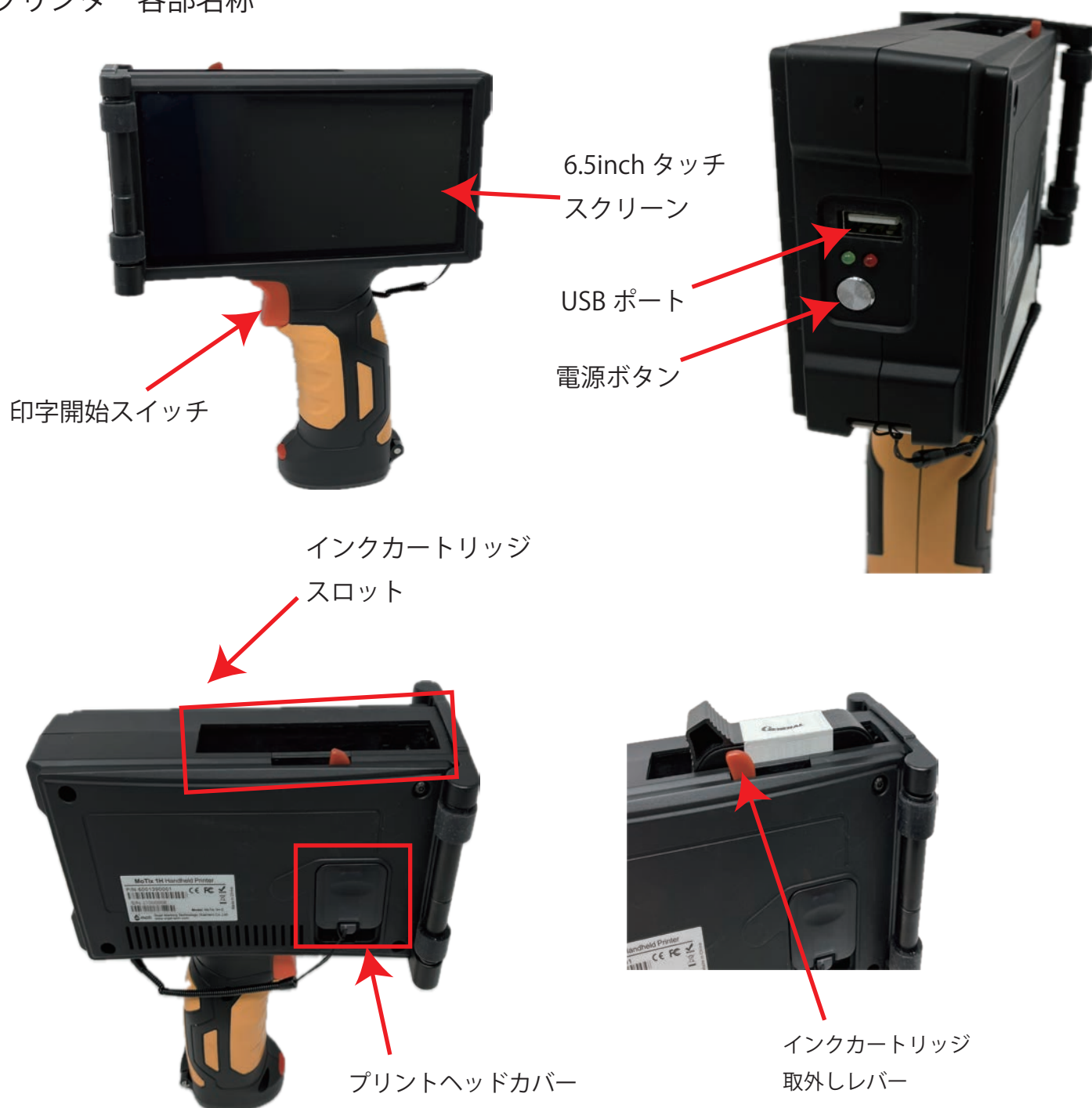
項目	仕様
テクノロジー	HP TIJ2.5 インクジェットテクノロジー
サイズ	(H*W*D) : 232*56*177mm
本体重量	690g ※バッテリーを除く
バッテリー	電圧 13.6V-16.8V 18650 充電式バッテリー 4 本 使用可能時間：最大 10 時間 スタンバイ状態：最大 15 時間
印字高さ	1 -12.7mm
解像度	600 dpi
印字内容	バーコード、QR コード、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字、 カウンター、日付、図形、記号、etc
インターフェイス	USB 2.0
インク管理	インクタイプ自動認識、自動パラメータ設定、自動インク消費量計算
製品認証	
推奨環境	操作環境：-10℃-55℃ 10%-85%RH 保存環境：-25℃-55℃ 10%-90% RH

2.2 特殊機能

項目	仕様
バーコード	一次元バーコード 1. Codabar 2. Code 25 Standard, Interleaved, IATA, Data logic, Industrial 3. Code 39 4. Code 93 5. Code 128 supports GS1 6. EAN 7. UPC variants: UPC A, UPC E 8. ITF 14

項目	仕様
バーコード	2次元バーコード 1.QR Code, supports GS1 2.Message Matrix, supports GS1 3. Grid Matrix 4. Maxicode 5. PDF417 6.Han Xin

2.3 プリンタ 各部名称



3. セットアップ

3.1 バッテリーの充電

付属の 18650 バッテリー 4 本を付属の充電器にセットして、充電をしてください。 充電が完了には、約 8 時間程度かかります。

充電中：赤色ランプ点灯

充電完了：緑色ランプ点灯



3.2 プリンタ本体にバッテリーをセットする

バッテリースロットのカバー開閉レバーを押して、カバーを開け、付属のバッテリー 4 本を +、- の配置を確認して、挿入し、カバーを閉めます。

バッテリースロット
カバー開閉レバー



- 付属のバッテリーを本製品以外に使用しないでください。
- バッテリー表面の被膜が剥がれたり、破損、変形したものは、使用しないでください。
- バッテリーのプラス・マイナス方向をよく確かめて正しい方向で、ご使用ください。

3.3 インクカートリッジをプリンタ本体へセットする

1. インクカートリッジの透明キャップを外し、ホコリのでない柔らかい布で、インクカートリッジのプリントヘッド（インクが出る部分）を1～2回、優しく、拭き取ってください。
2. インクカートリッジを 30 度位の角度で、本体の開口部にプリントヘッドが入るようにスライドさせて、挿入してください。その後、下記画像の青色矢印の突起を上からカチッと音がするまで、手の平等で、強く押し込んでください。



注意：
インクカートリッジのプリントヘッド（インクが吐出される部分）が、電極部分が破損、異物が付着すると印字不良が発生することがあります。
インクカートリッジは、丁寧に取り扱い願います。



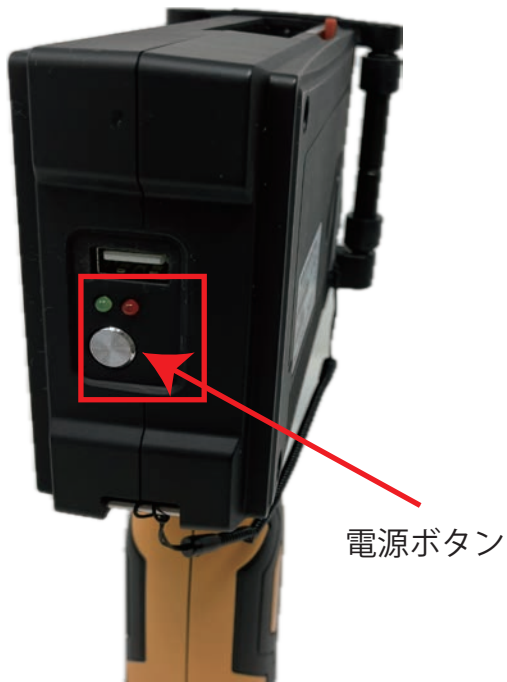
インクカートリッジを取り外す場合は、取外しレバーをスライドさせてから、インクカートリッジを引き抜いてください。

インクカートリッジ
取外しレバー



必ず、専用インクカートリッジをご使用ください。
類似品カートリッジをセットされても、プリンタが作動しません。

3.4 電源を ON/ OFF する



電源 ON :

赤色ランプが点灯するまで電源ボタンを長押しします。

タッチスクリーンに" Loading" と表示されます。

電源 OFF :

赤色ランプが消灯するまで、長押しします。

4. 印字の開始 / 停止

4.1 印字する

1. メッセージリストから印字したいメッセージをタップして、選択します。

 を押す。



2. 印字したい場所にプリンタを配置し、印字開始スイッチを 1 回、引きます。その後、印字開始スイッチから指を離し、プリンタを右方向にスライドさせます。

※プリンタをスライドさせる際に、蛇行したり、プリンタを印字対象物から離すと、うまく印字ができません。



タップすると、メッセージを拡大して、確認出来ます。

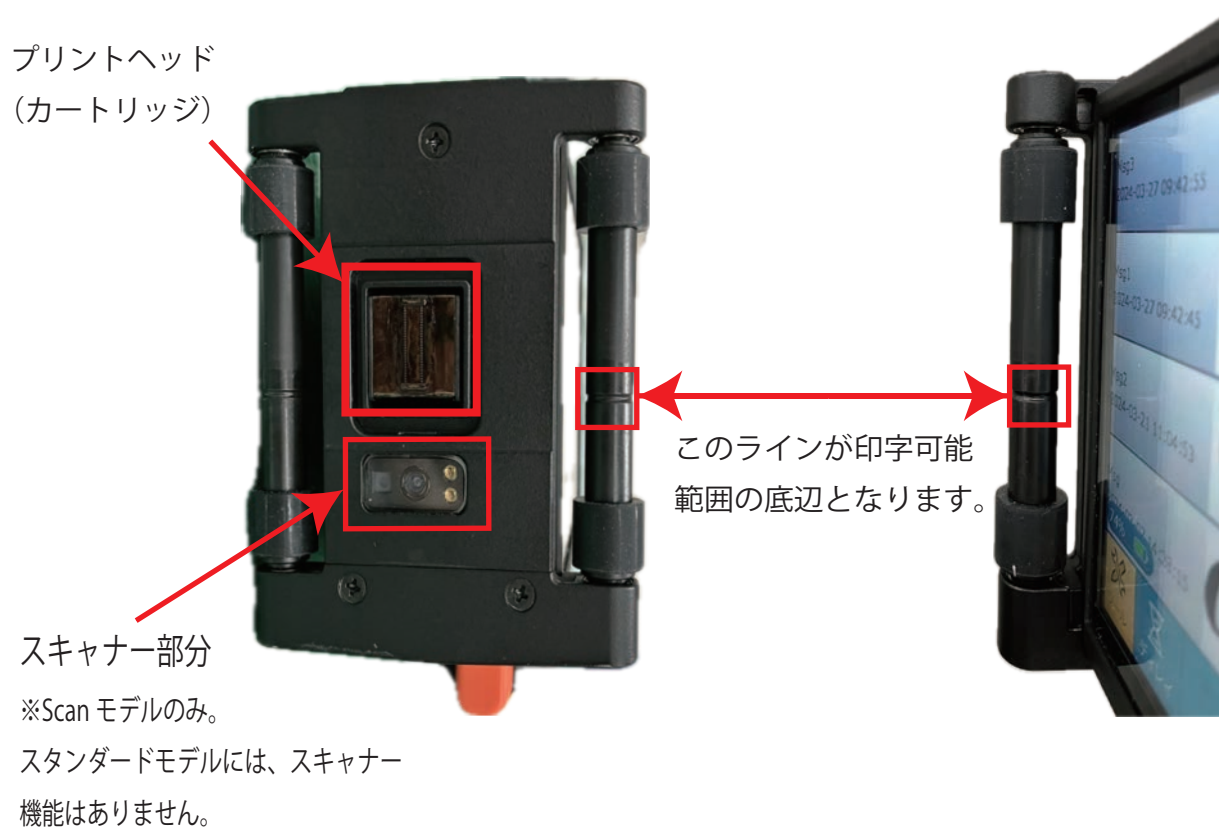


タップすると、メッセージを縮小して、確認できます。



タップすると、メッセージのプレビューがポップアップします。





4.2 印字を停止する

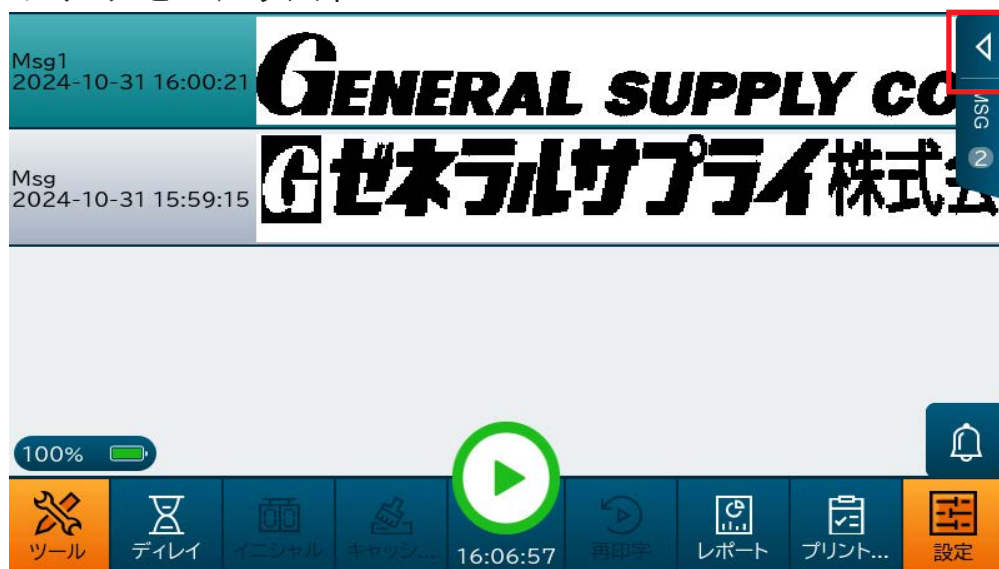


※インクカートリッジをプリンタから取外す時は、必ず、印字を停止してから、インクカートリッジを取外してください。

5. 機能説明

5.1 メッセージ管理

5.1.1 メッセージリスト



右上の  をタップするとメニューリストを表示します。



をタップするとメニューリストを隠すことができます



をタップするとメッセージの表示を切り替えることができます。
デフォルトではメッセージを大きく表示しています。



をタップすると、検索ボックスが表示され、メッセージを検索することができます。



メッセージを選択して、“名前変更”をタップすると、キーボードが表示され、メッセージ名を変更することができます。



USB デバイスからメッセージを選択し、プリンタへメッセージをインポートすることができます。※画像データをインポートする場合は、18 ページを参照ください。ここでのインポート可能なファイルは、プリンタ本体で作成したメッセージのみです。



USB デバイスからメッセージを選択し、選択されたメッセージをインポートすることができます。※ここでエクスポート可能なファイルは、プリンタ本体で作成したメッセージのみです。



新規メッセージを作成することができます。



メッセージの編集、変更ができます。



メッセージリストのメッセージを選択し、“コピー”をタップすると、メッセージリストへコピー、貼付けができます。



メッセージリストのメッセージを選択し、“削除”をタップすると、メッセージを削除することができます。



メッセージのプレビューを確認することができます。



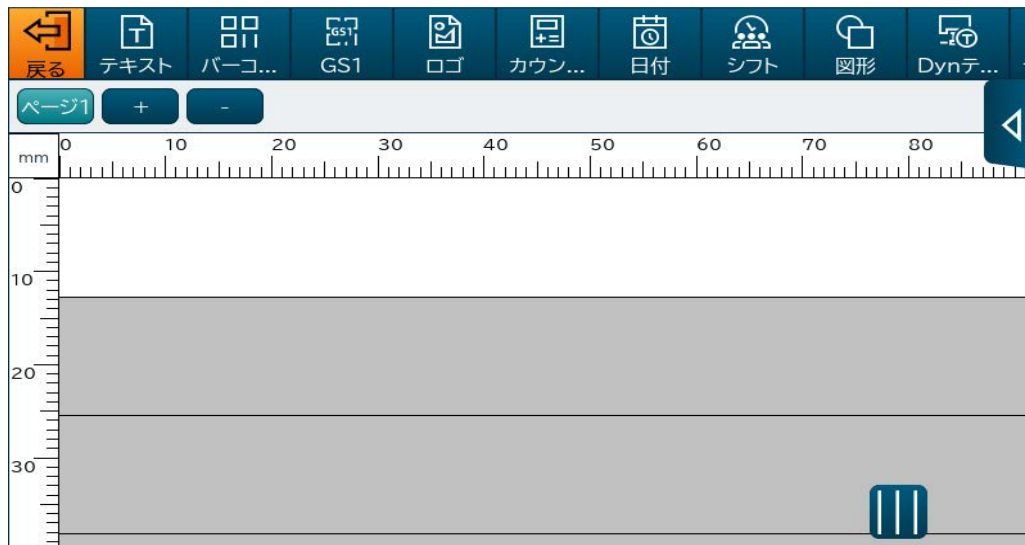
メッセージの複数選択、全て選択、「選択なし」は、
選択の取消ができます。

※最大 500 メッセージを保存することができます。上限に達すると新規メッセージを作成することができません。

5.1.2 新規メッセージの編集



をタップすると、メッセージの編集画面へ移動します。



バーコード、ロゴ、カウンター、日付等の新規メッセージが作成できます。



で、ページを追加し、複数ページのメッセージが作成することができます。

メッセージ作成後、



をタップすると、名前を付けて保存のウィンドウが表示されます

名前を付けて保存

名前

保存保存しないキャンセル

5.1.2.1 テキストオブジェクトの編集

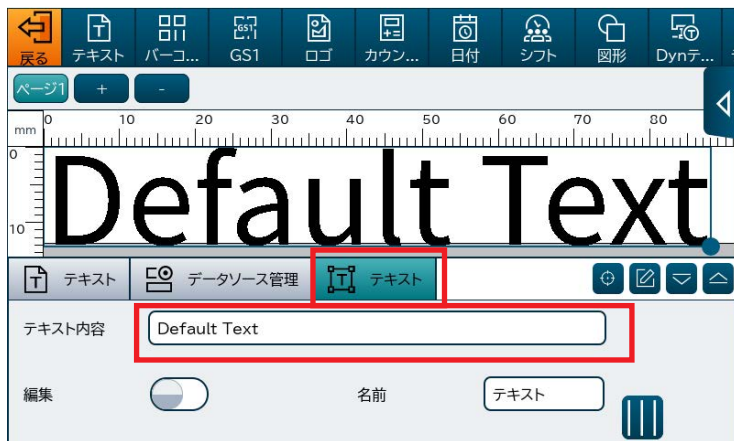


をタップすると、メッセージ編集画面にテキストが追加されます。

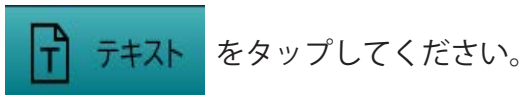
テキスト内容: テキストコンテンツ: デフォルトのテキストコンテンツ (Default Text) がデフォルトで表示されます。



を選択、テキスト内容の入力ボックスをタップすると、キーボードが表示されます。



テキストオブジェクトの設定：

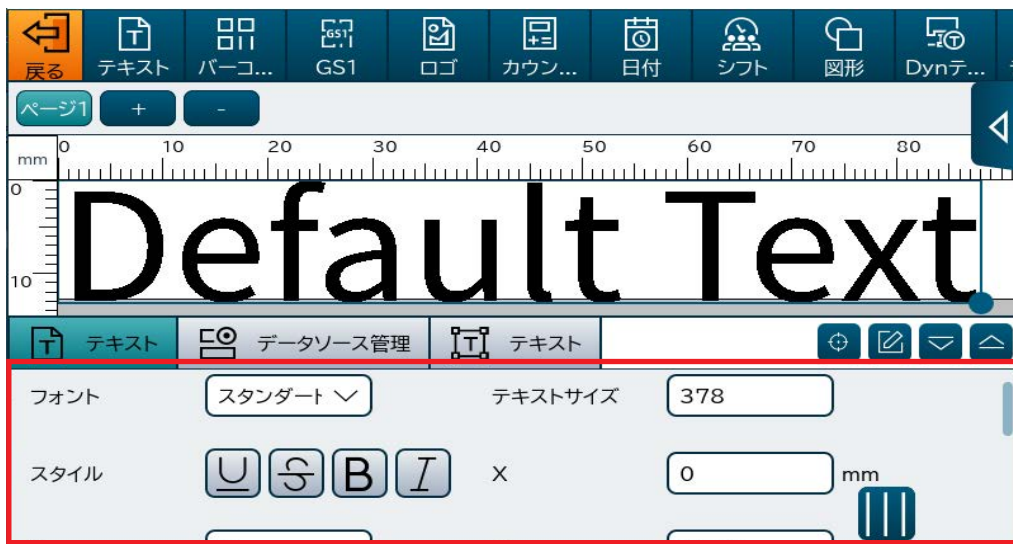


をタップしてください。

文字サイズ：入力ボックスをタップして、サイズを入力します。(2≤値≤2000)。

スタイル：タップすると太字、斜体、下線、取り消し線を選択できます。

X: オブジェクトの左端のX座標値を表示します。入力ボックスをタップすると、X座標の位置を変更できます。



Y: オブジェクトの上部にYの値を表示します。入力ボックスをタップして、値を変更できます。

幅：オブジェクトの幅の値を表示します。入力ボックスをタップして、値を変更できます。

高さ：オブジェクトの高さの値を表示します。入力ボックスをタップして、値を変更できます。

テキストサイズ X: テキスト オブジェクトの水平比率。入力ボックスをタップして、値を変更できます。(100% はデフォルトの表示率、値が小さいほどメッセージが縮小され、大きいほどメッセージが拡大されます。値が大きいほど、メッセージはより長くなります。

表示設定：表示、非表示、反転させるの3つのオプションが利用可能です。ドロップダウンキーを選択します。



水平方向反転を無効



水平方向反転を有効



垂直方向反転を無効



垂直方向反転を有効

回転：入力範囲は0～359。

アウトライン：オブジェクトは、アウトラインのみを表示（白抜き）するか、通常（内部を塗りつぶす）に設定できます。



白抜き文字が有効

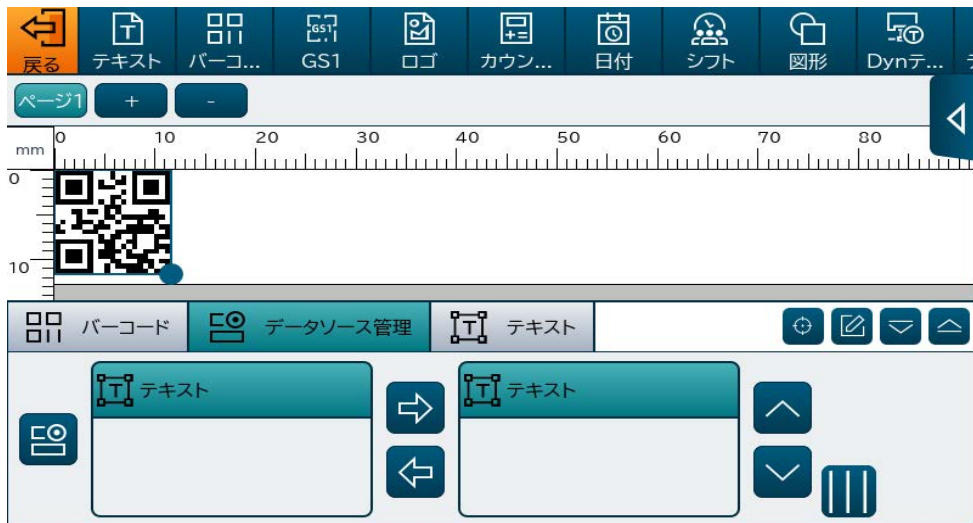


白抜き文字が無効

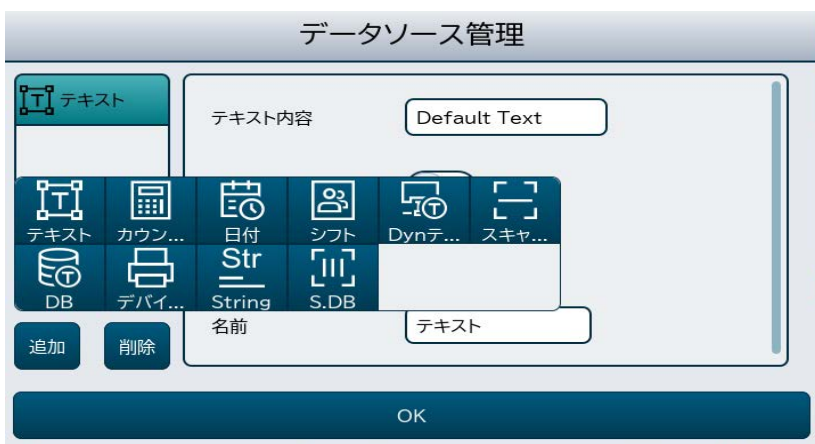
名前：日本語、英語、記号でファイル名を登録可能です。空欄及び同じ既存のファイル名での登録はできません。

データソース管理：テキストオブジェクトは、テキスト、カウンター、日付、シフト等と結合、バーコード、QRコードと関連付けすることが可能です。

例：QRコードに日付を関連付ける

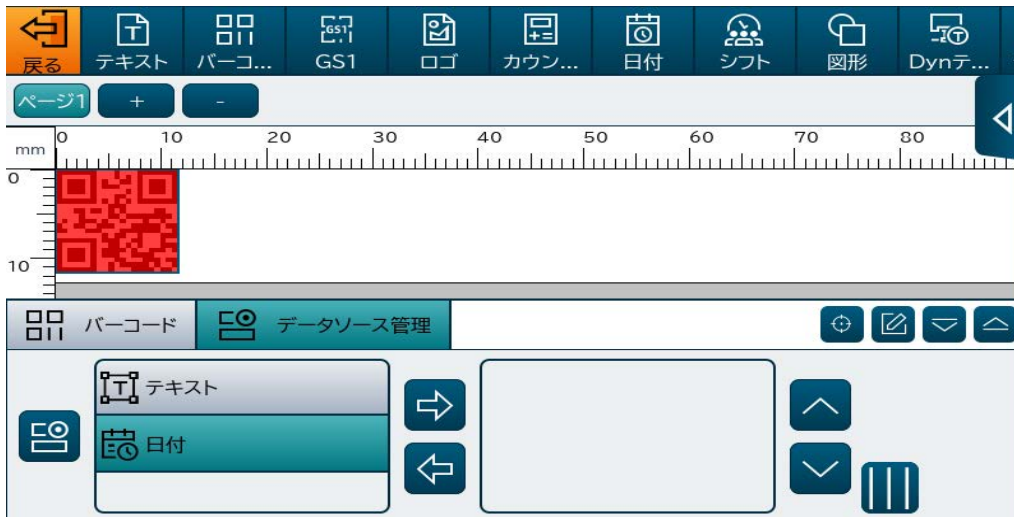


をタップすると”データソース管理”画面が表示されます。



追加したいデータソースをタップするとリストに追加されます。

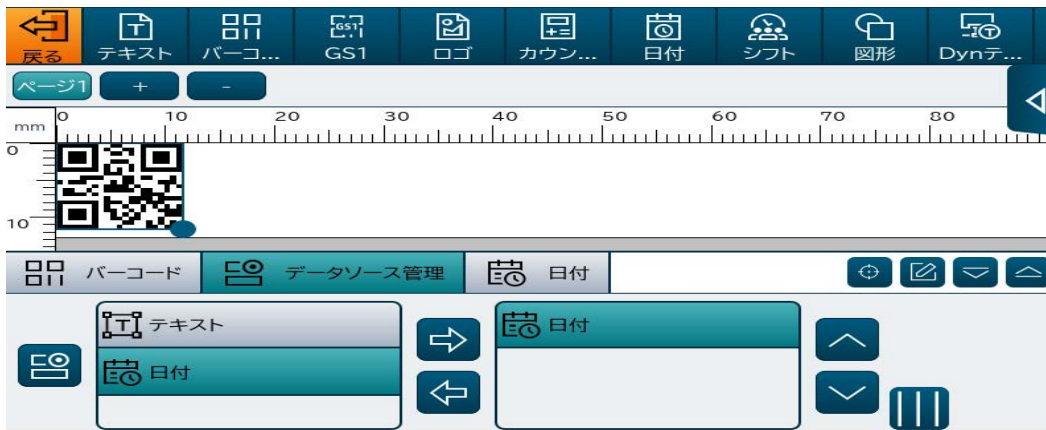




追加したいデータソースをタップして、選択、 をタップすると自動的に隣の追加リスト及びプレビューに追加されます。

オブジェクトのデータソースの削除：

追加されたデータソースリストからデータソースを選択、 をタップすると右側のリストから削除されます。



5.1.2.2 バーコード オブジェクトの編集



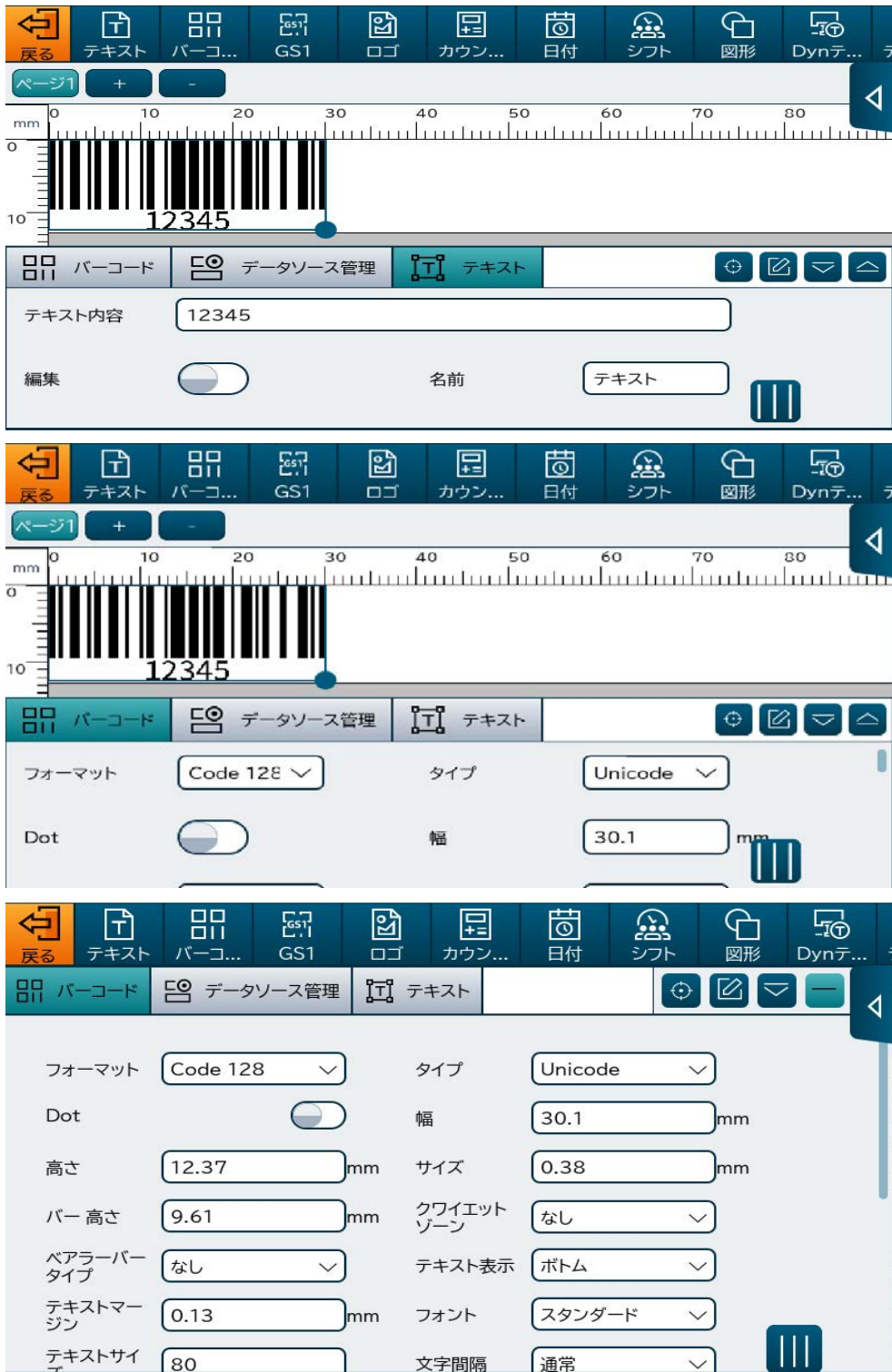
をタップすると、メッセージにバーコードが追加されます。

バーコード種類：Code128, バーコード (12345) がデフォルトで表示されます。

サポートされるバーコードは、1次元バーコード、2次元バーコードです。

1次元バーコード：Codabar、Code25、Code128、Code 39、UPC E、UPC A、Code93、EAN、ITF14

2次元バーコード：PDF417、Data Matrix、QR Code、Maxicode、Grid Matrix、Han Xin



バーコードオブジェクトの設定：

フォーマット：ドロップダウンキーをタップして、バーコード形式を選択します。

タイプ：ドロップダウンキーをタップして、Binary、Unicode、またはGS1のいずれかを選択します。

幅：バーコードの幅を設定します。

高さ：バーコードオブジェクト全体の高さを設定します。

サイズ：バーコードのバー幅を設定します。

バー高さ：一次元コードのバーの高さを設定します。

表示設定：バーコードのテキスト内容を表示するかどうかを選択し、キーをタップして表示します。

「なし」（テキストが表示されない）または「ボトム」（テキストがバーコードの下部に表示される）を選択します。

テキストマージン：テキストとバーコードの間の距離。

※ ITF 14 のバーコードを生成する場合、チェックデジットを除く 13 桁を入力ください。

チェックデジットは自動で生成されます。

※ QR コードのデータに漢字、ひらがな、カタカナが含まれる場合、タイプ：「Binary」を選択してください。デフォルトの「Unicode」に設定しているとサポートされないことがあります。

5.1.2.3 GS1 オブジェクトの編集



をタップすると、メッセージに GS1 バーコードが追加されます。

テキスト内容：GS1 Code128 バーコード、（表示 (21)12345）がデフォルトで表示されます。

対応バーコード：GS1 1D バーコード、GS1 2D バーコード、

GS1 1D バーコード：Code128

GS1 2D バーコード：Data Matrix, QR コード

GS1 オブジェクトの設定：

フォーマット：ドロップダウン ボタンをタップして、バーコード形式を選択します。

タイプ：ドロップダウン ボタンをタップして GS1 を選択します。

GS1 データチェック：入力されたコンテンツビットが ai 値に対応する長さとは一致するかどうかをチェックします。

ボタンをタップして、GS1 データ検証を有効、または無効にします。この機能は次の方法で有効になります。

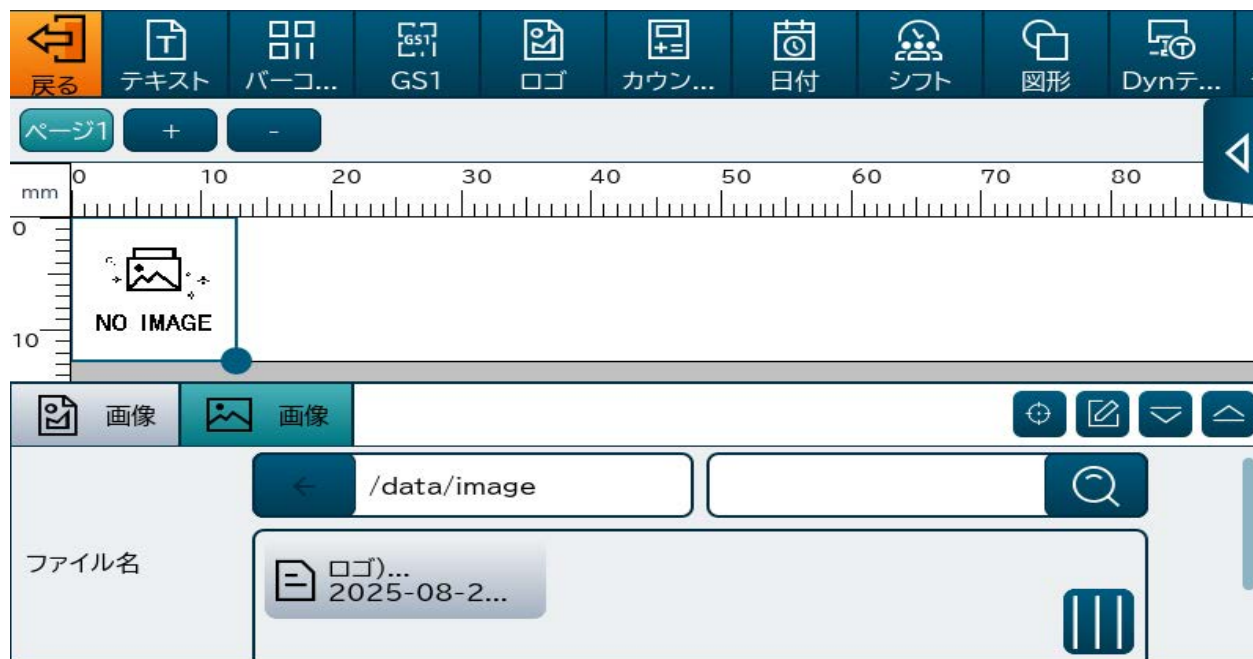
入力内容が ai 値に対応した長さを超えた場合、または不足した場合、値を指定すると、キャンバスに表示される GS1 コードが赤色になり、エラーが報告されます。

GS1 データの場合チェックが無効になっている場合、ビット長が一致しない場合でもエラーは報告されません。

5.1.2.4 ログ オブジェクトの編集



をタップすると、メッセージにログ オブジェクトが追加されます。



画像リスト: インポートされた画像を表示し、タップして既存のロゴオブジェクトから切り替えます。
(デバイスに画像ファイルがない場合は、「Image」オブジェクトを追加すると、キャンバスにシステムのデフォルト画像が表示されます。)

サイズ X: デフォルト値は 100% です。水平方向の値は、をタップして変更できます。
入力ボックスを使用するか、オブジェクトの右下隅にある●印を直接ドラッグします。

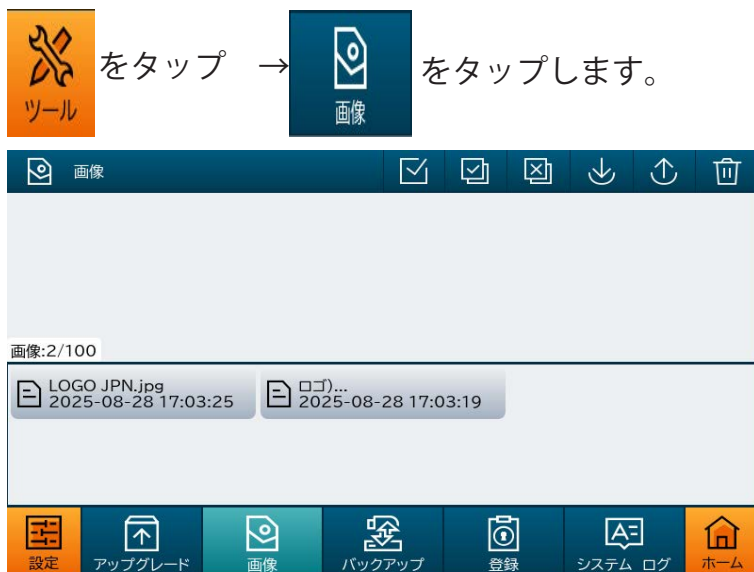
サイズ Y: デフォルト値は 100% です。垂直方向の値は、タップして変更できます。
入力ボックスを使用するか、オブジェクトの右下隅にあるドットを直接ドラッグします。

アスペクト 比: 水平と垂直の比率をロックし、この機能を有効にすると、

オブジェクトは、水平方向または垂直方向に拡大縮小すると、均等に拡大縮小されます。

画像データを USB デバイスからインポートする

画像データが保存された USB デバイスをプリンタ本体の USB ポートへ挿入します。



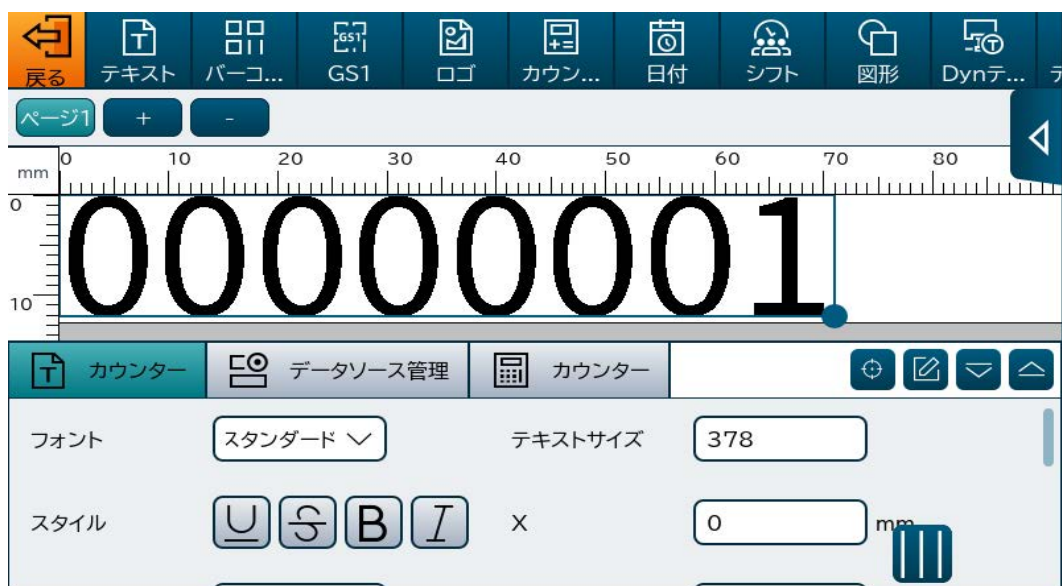
インポートした画像ファイルを選択して、右上の  をタップします。

インポート可能なファイル形式は、BMP、JPG、PNG です。

インポート可能な画像サイズ : 1,200*10,000 ピクセル以下 です。

5.1.2.5 カウンター オブジェクトの編集

 をタップするとメッセージにカウンターオブジェクトが追加されます。



スタート	1	エンド	99999999
ステップ	1	現在	1
リーディングゼロ	0001	Carry	なし
アラーム	☐	印字回数	1
基数	dec		

カウンターの設定：

スタート：カウンターの開始値、最小値を設定します。

エンド：カウンターの終了値、最大値を設定します。

現在：カウンターの現在の印字値を開始値との間の範囲で設定します。

ステップ値：カウンターのステップ数を設定します（たとえば、ステップ値が3の場合、カウンタは1、4、7... となります）。

リーディング ゼロ：「0001」、「__1」、「1__」、「1」の4つのモードが使用可能です。

アラーム：最後に達したときにアラームを鳴らして印刷を自動的に停止するかどうかを設定します

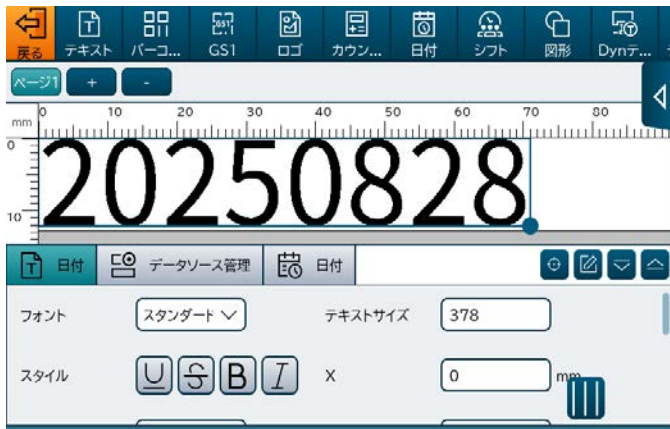
スイッチをタップしてアラーム機能の ON/OFF を切り替えます。

Thousand Separator：有効にするとカウンターの値を 1000 の位ごとにカンマで区切って表示します。

5.1.2.6 日付 オブジェクトの編集



をタップするとメッセージに日付が追加されます。



日付の設定：

フォーマット：デフォルトの日付フォーマットは、「YYYYMMDD」、「YYYY/MM/DD」、「MM/DD/YYYY」、「HH:mm」です。



追加でフォーマットを作成する場合、をタップすると日付フォーマット編集画面に移動します。

5.3.3.2 の日付フォーマットを参照ください。

期限：製造日のみを設定するには、有効期限を 0 に設定してください。

有効期限については、ドロップダウン キーをタップして、年、月、日、時間の 4 つの単位を選択できます。

リーディング ゼロ：「2020/1/1」、「2020/01/01」、「2020/_1/_1」、「2020/1_1_1」の 4 つから選択可能です。

ゼロ設定：デフォルトでは 0:00 です。

5.1.2.7 シフト オブジェクトの編集



をタップするとメッセージにシフトオブジェクトが追加されます。

シフト データソースの設定：

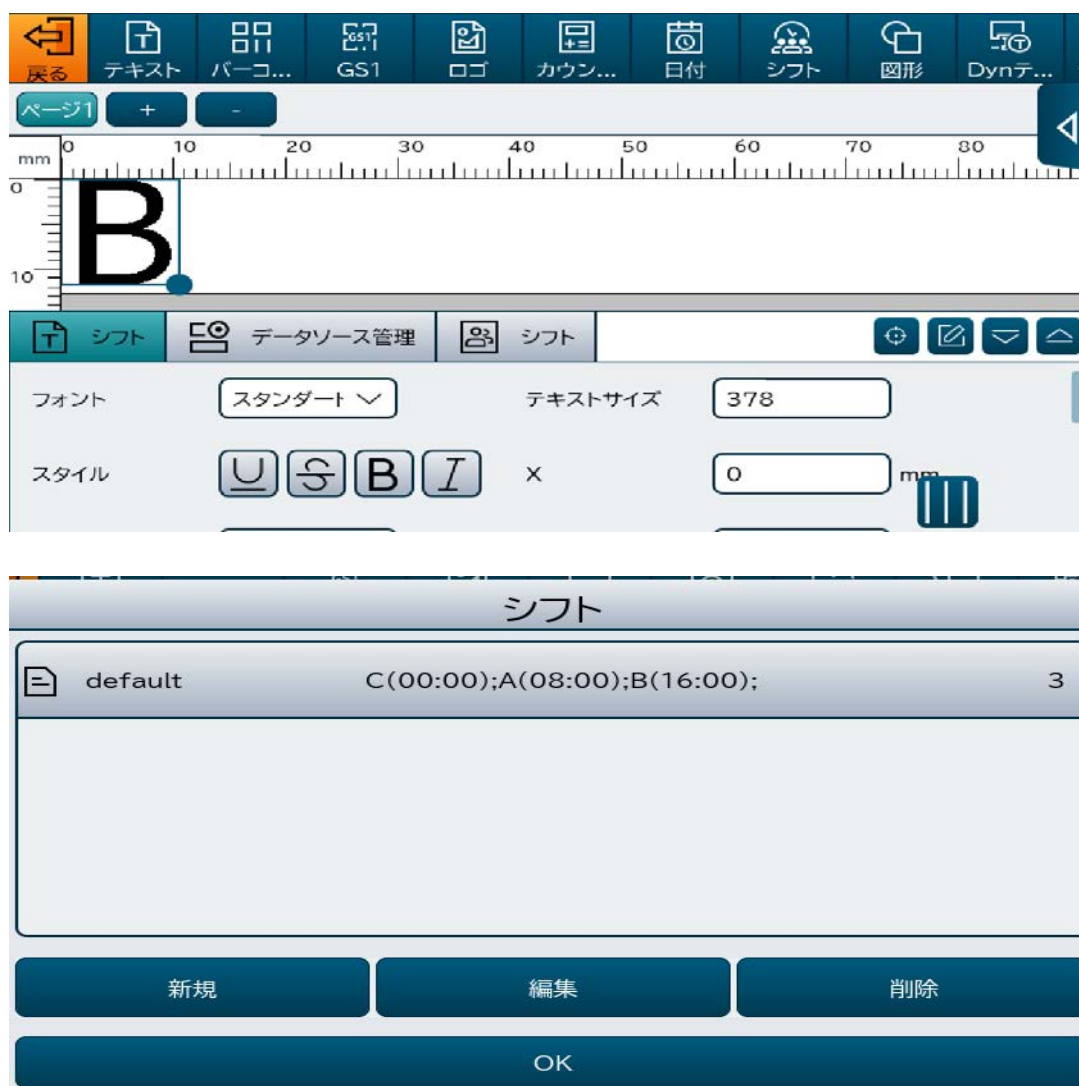
フォーマット：デフォルトのシフト（A:08:00 B:16:00 C:00:00）を選択します。

デフォルトの A の場合、08:00 ～ 15:59 まだが A と表示

デフォルトの B の場合、16:00 ～ 23:59 まだが B と表示

デフォルトの C の場合、00:00 ～ 7：59 まだが C と表示

新しくシフトを作成する場合は、 をタップし、シフト編集画面で編集可能です。
3.3.3.2 を参照ください。



5.1.2.8 図形 オブジェクトの編集



をタップするとメッセージに図形オブジェクトが追加されます。

図形データソースの設定：

図形：四角形、円形、楕円の3種類が利用可能。

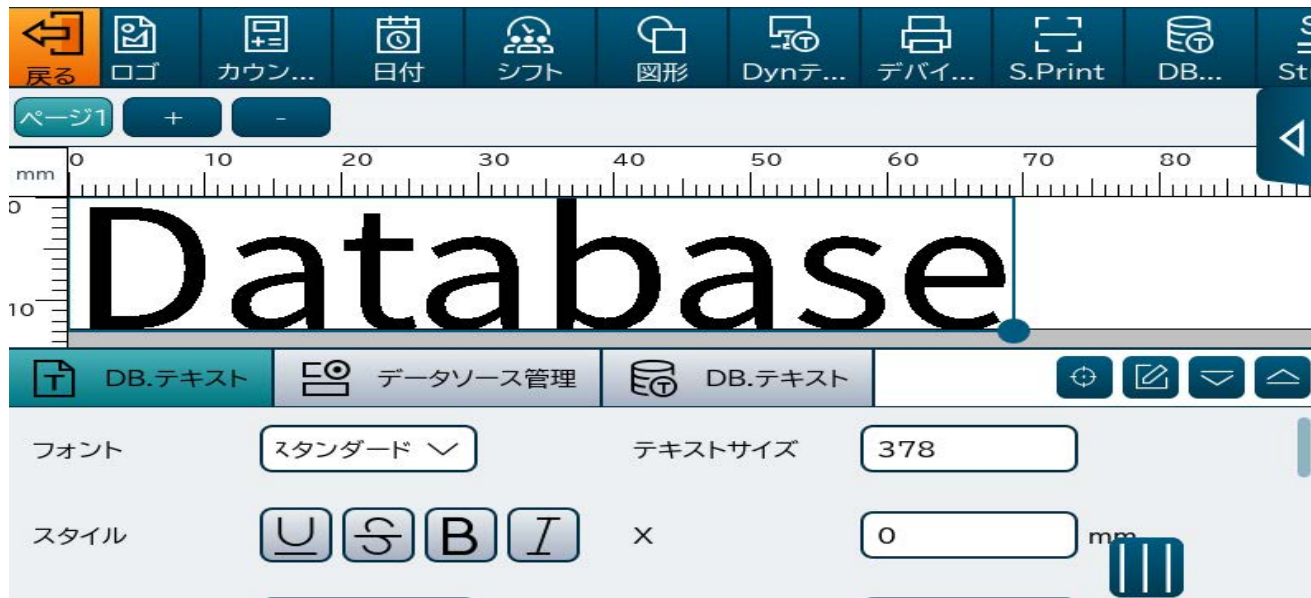
半径 X/ 半径 Y: 入力ボックスをタップして、X、Yを変更します。



5.1.2.9 DB オブジェクトの編集



をタップするとメッセージに DB オブジェクトが追加されます。



CSV ファイルを USB デバイスへコピー、USB デバイスをプリンタの USB ポートに挿入してください。

※CSV ファイルのデータに漢字、ひらがな、カタカナ（全角のみ）を含む場合は、

必ず、文字コード UTF-8 で、CSV ファイルを作成してください。

（文字コード Shift-JIS 等で作成すると文字化けが発生、印字ができません。）

CSV ファイルの容量は、最大 1 M までサポートしております。

ファイル名：ドロップダウン キーをクリックして、印字するファイルを選択します。

（USB デバイスのディレクトリに CSV ファイルがない場合、" none が表示されます。）

列：印刷するデータベースの列を設定します。

デフォルトでは列 1(A 列) が印刷されます。

入力ボックスをタップして列番号を変更できます。

スタート：開始位置：印字を開始する行を設定します。

エンド：印字を終了する行を設定します。

現在：データベースの現在行を開始位置から終了位置までの範囲で設定します。

Warning：デフォルトでは無効になっています。

Warning が有効になっている場合、プリンタは自動的に停止します。

5.1.2.10 String オブジェクトの編集



をタップすると String オブジェクトが追加されます。



テキストボックスにテキストを入力すると入力されたテキストが String 1 に紐付けされます。

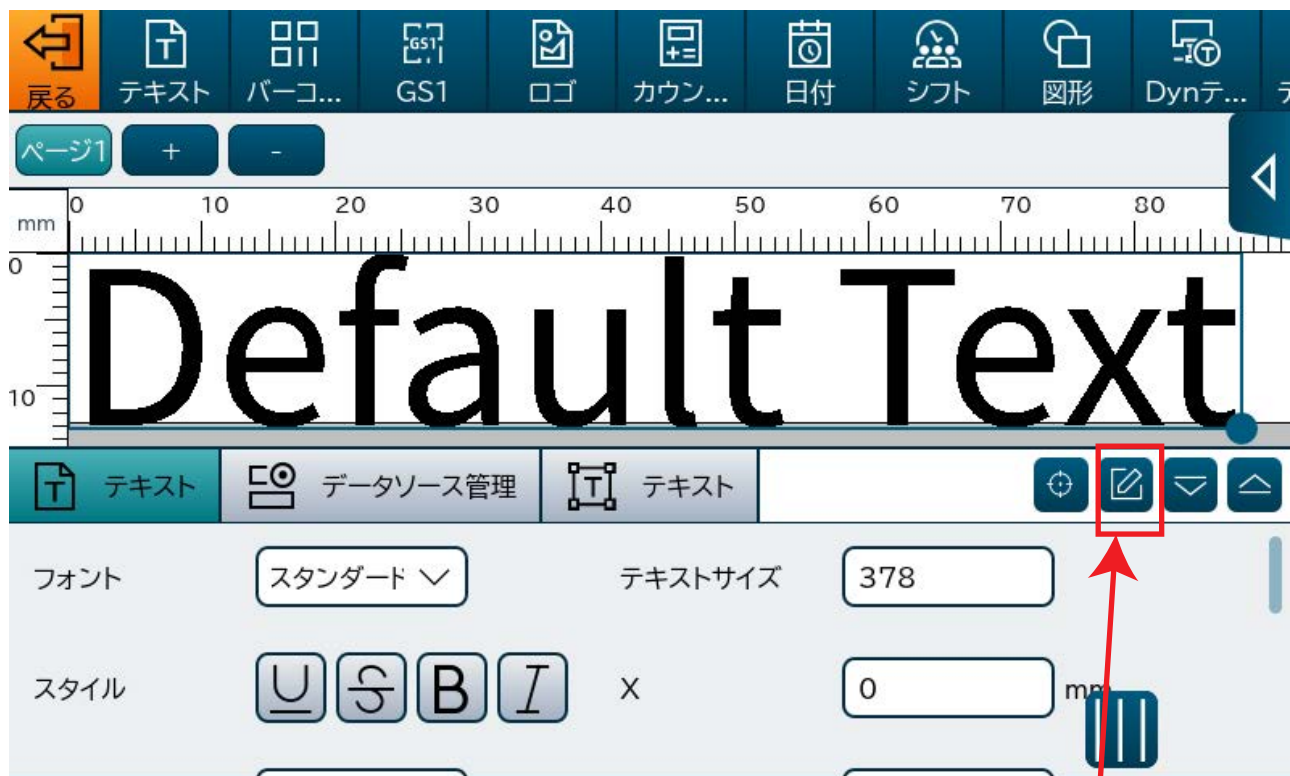


同様に String Index のドロップダウンで、String2 を選択し、テキストボックスにテキストを入力すると、入力されたテキストが String2 に紐付けされます。次回 String オブジェクトを作成 / 編集時に、String Index より、紐付けされたテキストを選択し、テキスト入力せずに、テキストを表示することができます。

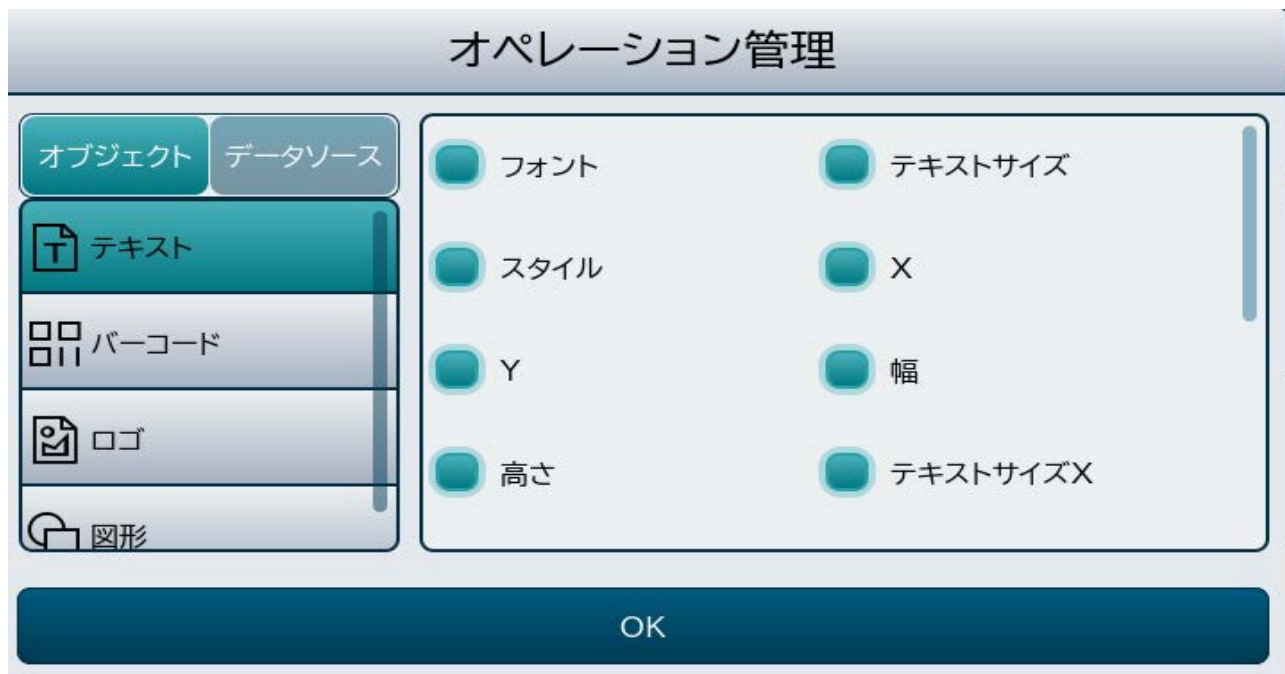


設定 → メッセージをタップし、String より紐付けされたテキストの一覧が確認・変更ができます。

5.1.3 オペレーション管理

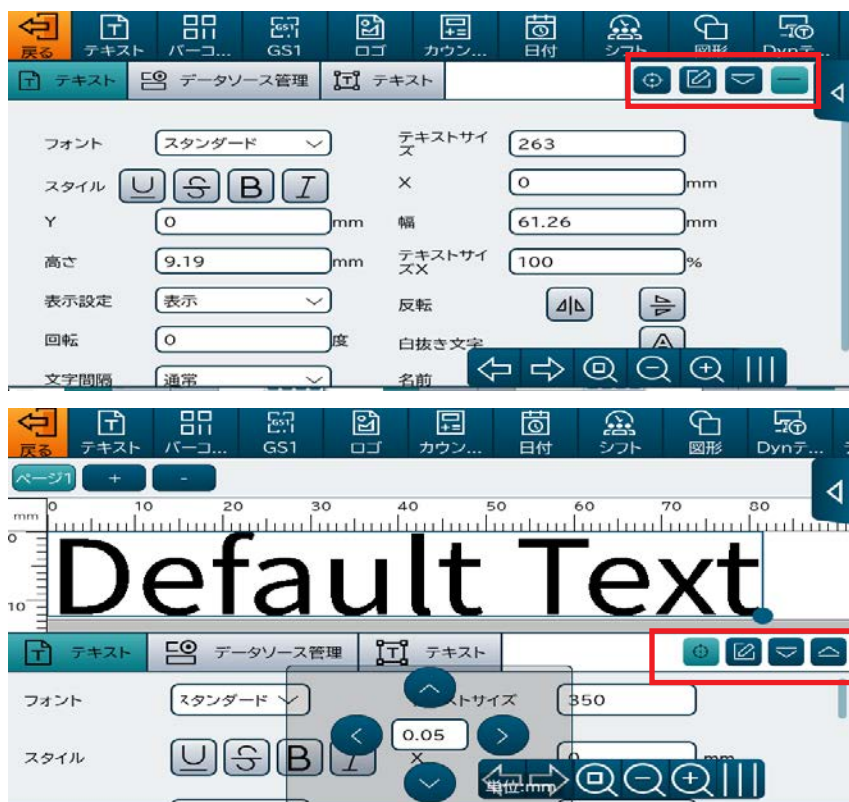


タップするとオペレーション管理画面に移動します。



各オブジェクトの設定項目を編集画面に表示、非表示の設定が行えます。

5.1.4 メッセージ設定スクリーンの表示



をタップするとデータ設定を非表示にすることができます。



をタップすると表示を最大化することができます。



をタップすると、オブジェクトを設定したサイズで、垂直、水平方向へ移動することができます。

5.1.5 ツールバー

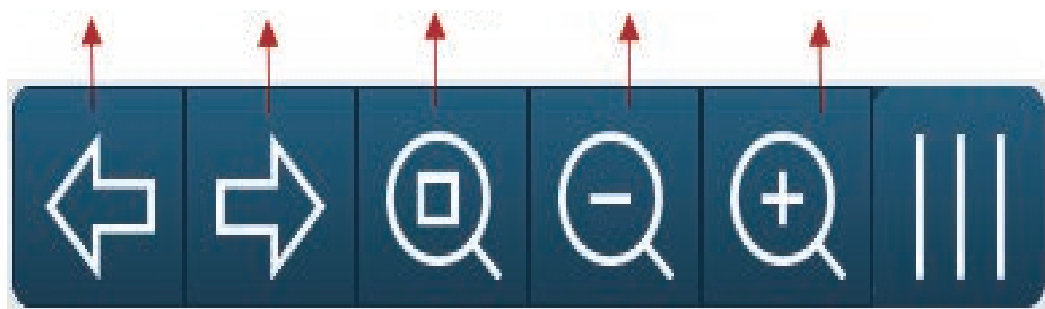
前のオブジェクトを
選択

後ろのオブジェクト
を選択

キャンバスサイズに
合わせる

縮小

拡大



のアイコンは、ドラッグして、スクリーンに自由に配置可能です。
タップすると、ツールキーを非表示、再度タップすると、再表示します。

メッセージ編集画面の右側の  をタップするとツールバーが展開し、 をタップするとツールバーを隠すことができます。

削除：オブジェクトを指定して、 をタップするとオブジェクトを削除できます。

複数選択： をタップして、複数選択を有効 / 無効にできます。
複数選択を有効にすると複数のオブジェクトを同時に選択できます。

コピー：オブジェクトを選択し、 をタップすると、直接オブジェクトをコピー / ペーストできます。

ロック： をタップして、有効にすると、プレビュー上のオブジェクトをロックし、

移動不可となります。 をタップするとロック解除になります。

 をタップするとオブジェクトの配列を調整できます。
2つ以上のオブジェクトを選択時のみ有効となります。

1		水平方向左揃え	5		垂直方向上に整列
2		水平方向中央揃え	6		垂直方向中央に整
3		水平方向右揃え	7		垂直方向下に整列
4		水平方向中央に整列	8		垂直方向中央に整列

5.2 印字管理

5.2.1 ディレイ



フロント - ディレイ：センサーが感知後の印字開始するまで距離のことです。

デフォルトは、フロント 5 mmです。 入力ボックスをタップして、変更ができます。

ディレイの数値が大きくなると、印字開始位置が後ろに移動します。



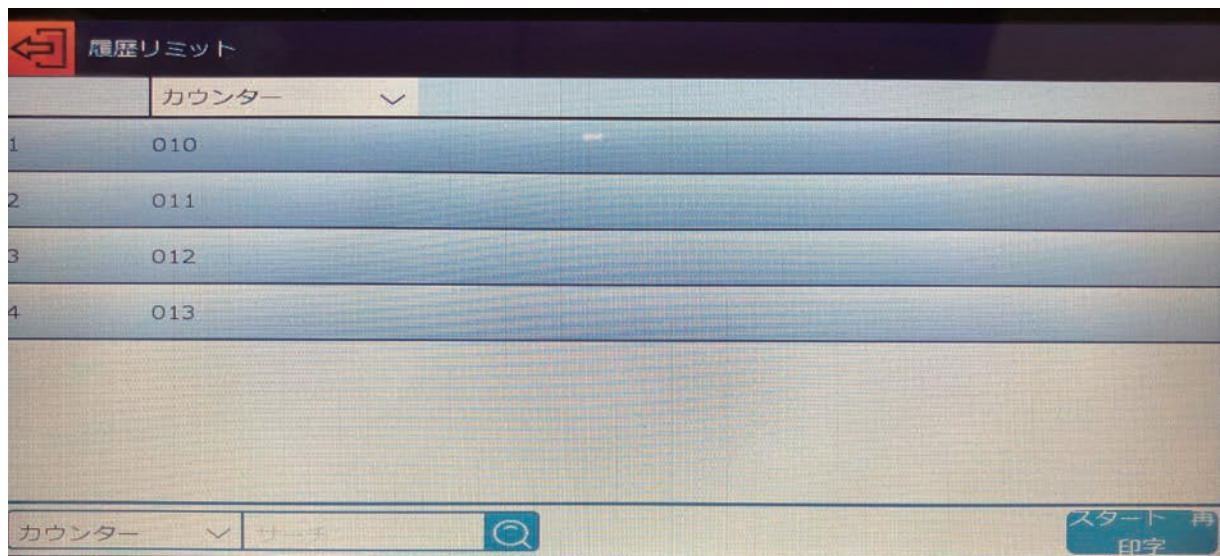
5.2.2 イニシャル

現在値：印字が開始された後の数値。カウンター /DB (CSV 印字) において、印字開始から印字終了の間の数値が必要となります。

5.2.3 再印字

カウンター、日付、シフト、DB オブジェクト (CSV) を印字する時、ディレイに" 再印字" が表示されます。再印字したい数値を選択し、"スタート" 再印字" をタップしてください。





5.2.4 USB デバイス



USB デバイスを取り外す場合は、



をタップ、「取り外し」をタップしてから USB デバイス

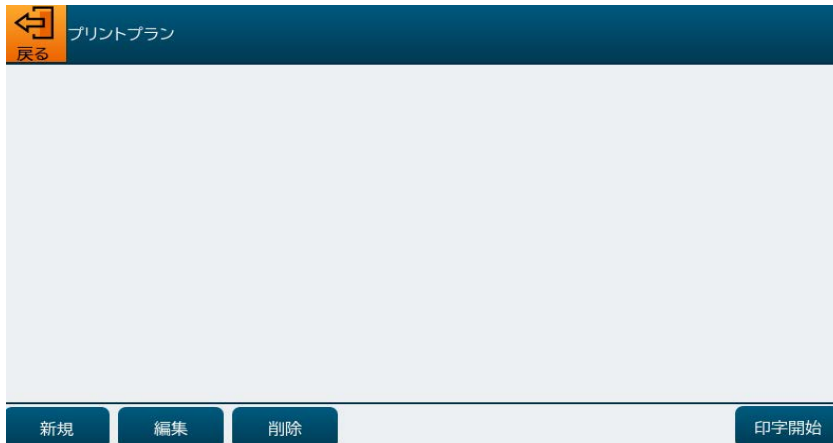
を引き抜いてください。

5.2.5 プリントプラン



をタップすると下記の画面がポップアップします。

プランを選択して、“ 印字開始” をタップすると印字ができます。



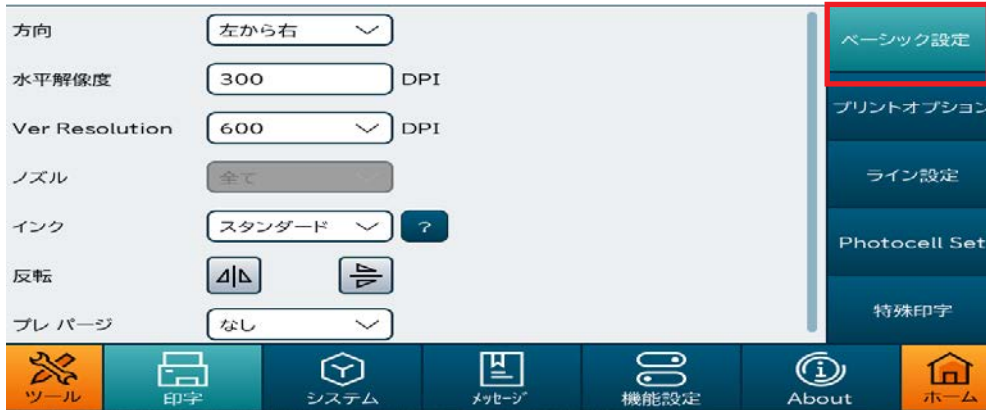
複数のメッセージを選択して、メッセージをグループ化して、プリントプランを作成できます。
ループ回数（同じメッセージを何回印字するか）を設定できます。



5.3 設定

5.3.1 印字パラメーター

5.3.1.1 ベーシック設定



方向: 印字方向を設定します (デフォルトでは左から右)。

ドロップダウン ボタンで「左から右」または「右から左」を選択します。複数の組み合わせの場合は、組み合わせごとに方向を個別に設定できます。

水平解像度: 印刷解像度を設定します。値の範囲は 40 ～ 1200 で、デフォルトでは 300 です (注: 値が小さいほど印字が薄くなります。値が大きいほど印字が濃くなります。)

Ver Resolution: 垂直解像度を設定します。ノズルの設定が、「左」、「右」、「左 / 右」の場合、「75」、「150」、「300」に設定できます。ノズルが「全て」(デフォルト) の場合、「600」に固定されています。ノズル (インクが吐出される部分): カートリッジには 2 列のノズル (左ノズルと右ノズル) があります。「左」、「右」、「左 / 右」、「全て」に設定できます。

※ノズルを変更すると、印字開始位置がシフトします。

反転: 反転印字、水平方向の反転印字、垂直方向の反転印字が設定できます。

複数の組み合わせの場合、それぞれに個別に組み合わせて、反転印字の設定ができます。

プレページ: この機能は、プリントヘッドの乾燥を防ぎ、印字カスレを防止する為のものです。この機能を有効にすると、印字インターバルの間にプリントヘッドに少量のインクを注入し、プリントヘッドの乾燥を防止します。

ドロップダウン ボックスをクリックして、「なし」、「プリセット」、「カスタム」から選択します。

- プレページのデフォルト設定は「なし」です。

- 「プリセット」を選択すると、デフォルトで設定されているプレページが実行されます

- 「カスタム」を選択すると、プレページ設定が有効になります。間隔 1 ～ 3600 秒に設定でき、列の範囲は 1 ～ 1000 です。間隔「10 秒」と列「10」と

入力すると、10 秒ごとに ノズル 10 列分のインクを自動的に注入し、プリントヘッドの乾燥を防止します。

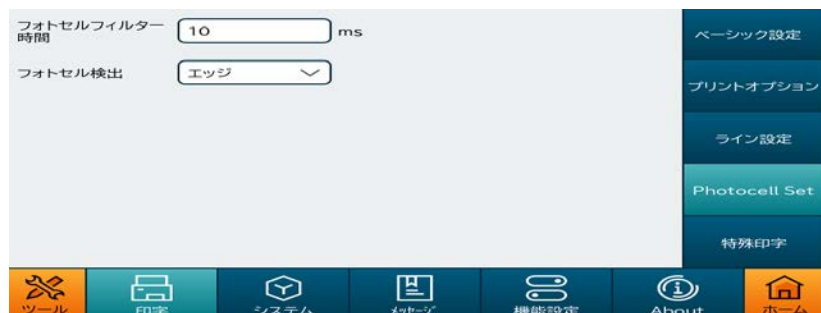
Photocell Set :

フォトフィルター時間:入力できる時間範囲:0～255ms デフォルトは、10ms。

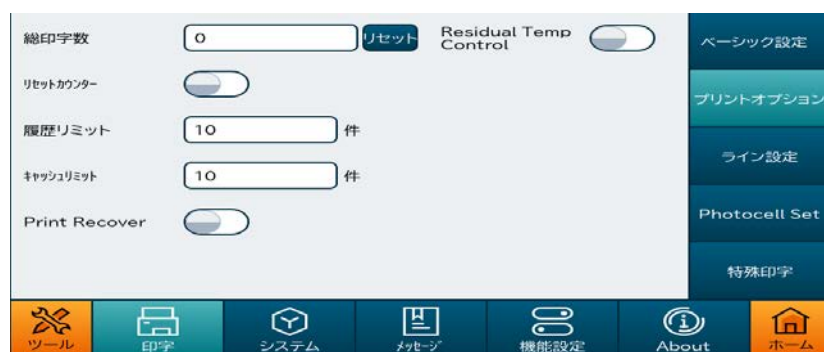
フォトセル検出:2つのオプション:レベルとエッジ。 デフォルトは、エッジ。

エッジ:印字開始スイッチを1回引き、指を離して、スライドすると印字ができます。

レベル:印字開始スイッチを引いた状態で、スライドすると印字ができます。



5.3.1.2 プリントオプション



総印字数:印字されたメッセージ数が表示されます。 設定範囲は、0～999999999999。

数値を変更すると変更後の値に基づいて、印字数がカウントされます。

リセットカウンター:この機能を有効にすると、カウンターを含むメッセージの印字を開始ごとにリセットするかどうかのメッセージが表示されます。

履歴リミット:自動的に保存される印字履歴の上限

0～100で設定できます。0に設定すると再印字できません。

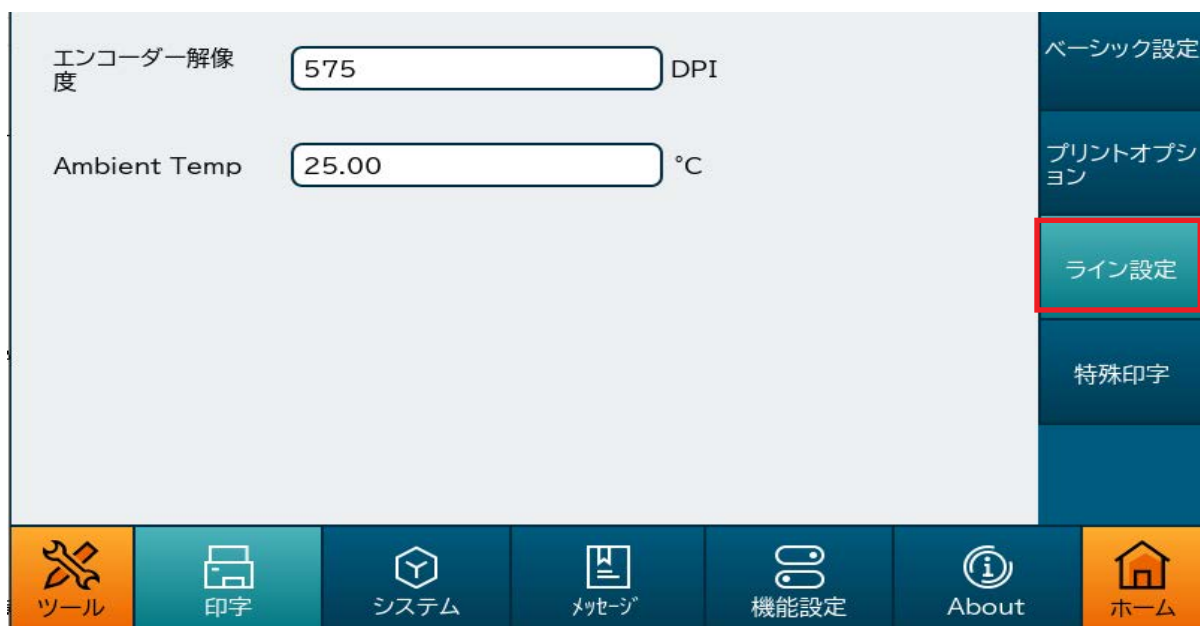
キャッシュリミット:自動的読み込まれるキャッシュの上限。

1～100まで設定できます。

Residual Temp Control:デフォルトでは、無効になっています。

印字品質が、不十分な時に有効にしてください。

5.3.1.3 ライン設定



エンコーダ解像度: 100 ~ 600 (通常は 300DPI) の範囲で設定できます。

Ambient Temp: デフォルトで 25° C に設定されています。

※設定変更しないでください。

5.3.1.4 特殊印字



リアルタイム印字: フォトセルの感知時間に基づいてリアルタイム印字が実行されます。

往復印字: この機能を有効にすると、設定された印字方向で印字が 1 回行われ、次に反対方向に 1 回印字し、続いて設定された方向にもう 1 回印刷します。

モード: 「シングル」、「複数」、「連続」の 3 つのモードがあります。

シングル: 印字開始スイッチを引くと、メッセージが印字されます。

複数:

印刷パラメータを設定: 印字回数と印字間隔。印字開始スイッチを引くと、対応する数のメッセージが一定の間隔、回数で印字されます。

連続: 連続印字パラメータ「印字間隔」は、機能が有効後に設定できます。

連続印字を有効にすると、印字開始スイッチを引くと、連続で印字が実行されます。

印字枚数: 毎回の印字枚数を設定します。

印字間隔: メッセージの終わりから次のメッセージの始まりまでの距離。

5.3.2 システム設定

5.3.2.1 設定管理

システム時間: 設定ボックスをタップ、スライドして、現在の時間を設定してください。

年	月	日	時	分	秒
2000-2037	1-12	1-31	0-23	0-59	0-59

1. うるう年の場合、2月の最終日が2月28日から2月29日へ自動的に修正されます。
2. 「日」スクロールボックスの最大値は、その月の実際の日数によって異なります。

明るさ: 画面の明るさを設定します。10から100までの任意の値に設定できます。
デフォルトでは100。

言語: [日本語または英語]、システム言語をドロップダウン ボックスをクリックして切り替えることができます。

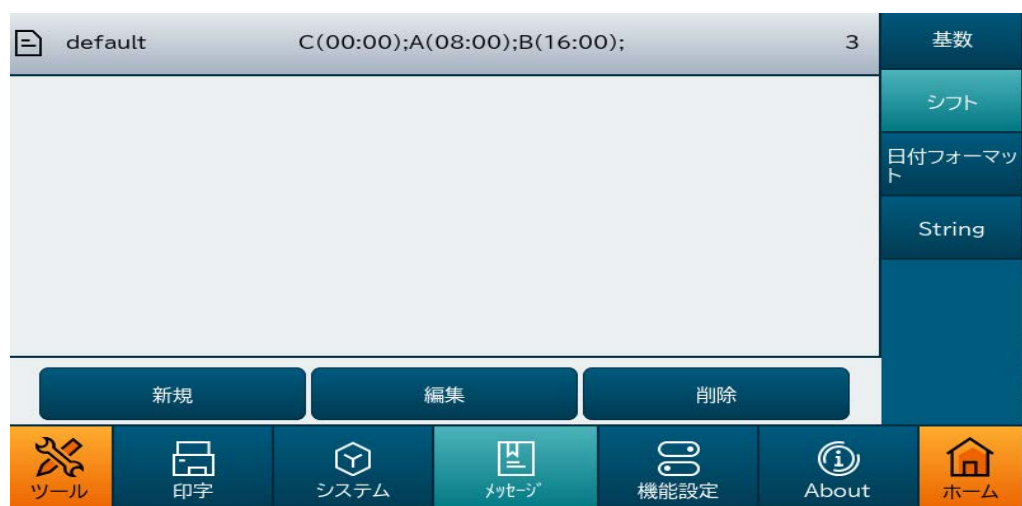
スリープ時間: システムのデフォルトは「5分」で、「5分」、「15分」、「30分」、「2時間」、「4時間」、「8時間」で設定できます。スリープ時間を設定すると、画面が設定値が経過すると休止状態になります。

単位: [メートル法 mm またはインチ] 下矢印をクリックして単位を切り替えます。

デバイス名: 日本語、英語、数字、数字、記号で、
最大 30 文字入力可能です。

5.3.3 メッセージ フォーマット

5.3.3.1 シフト フォーマット



新規：新しいシフトが作成できます。

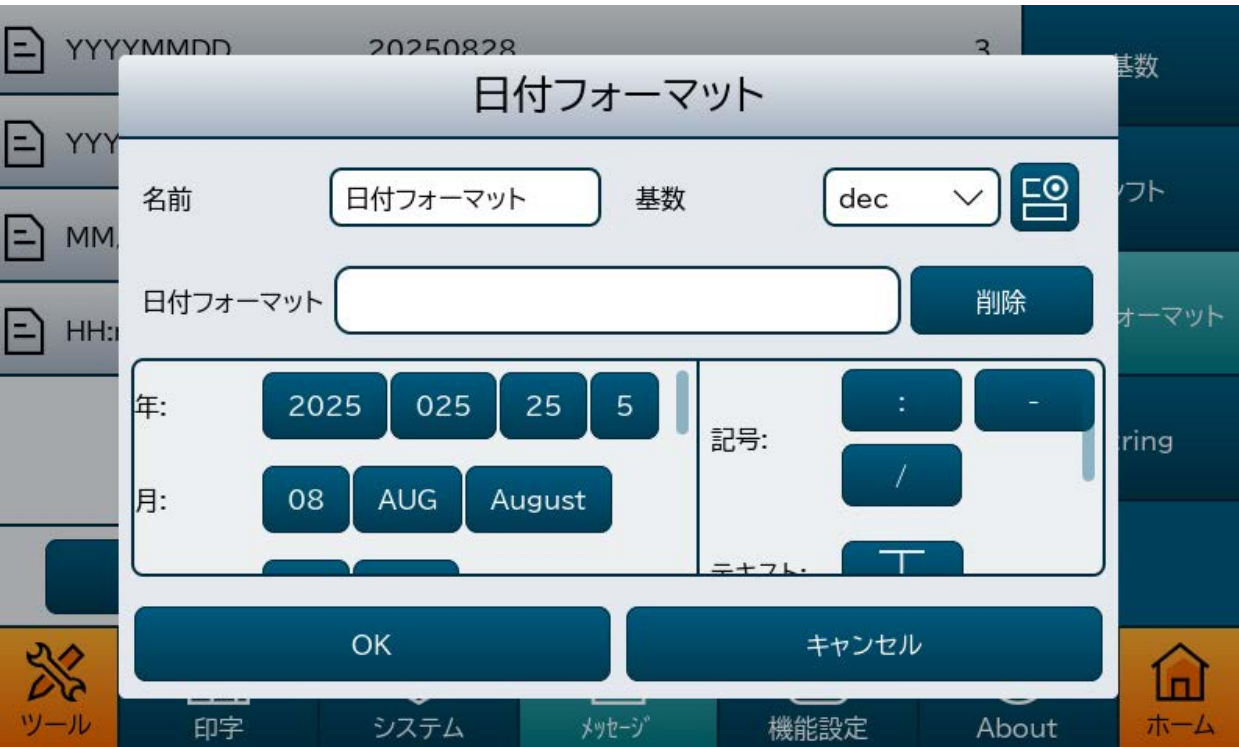
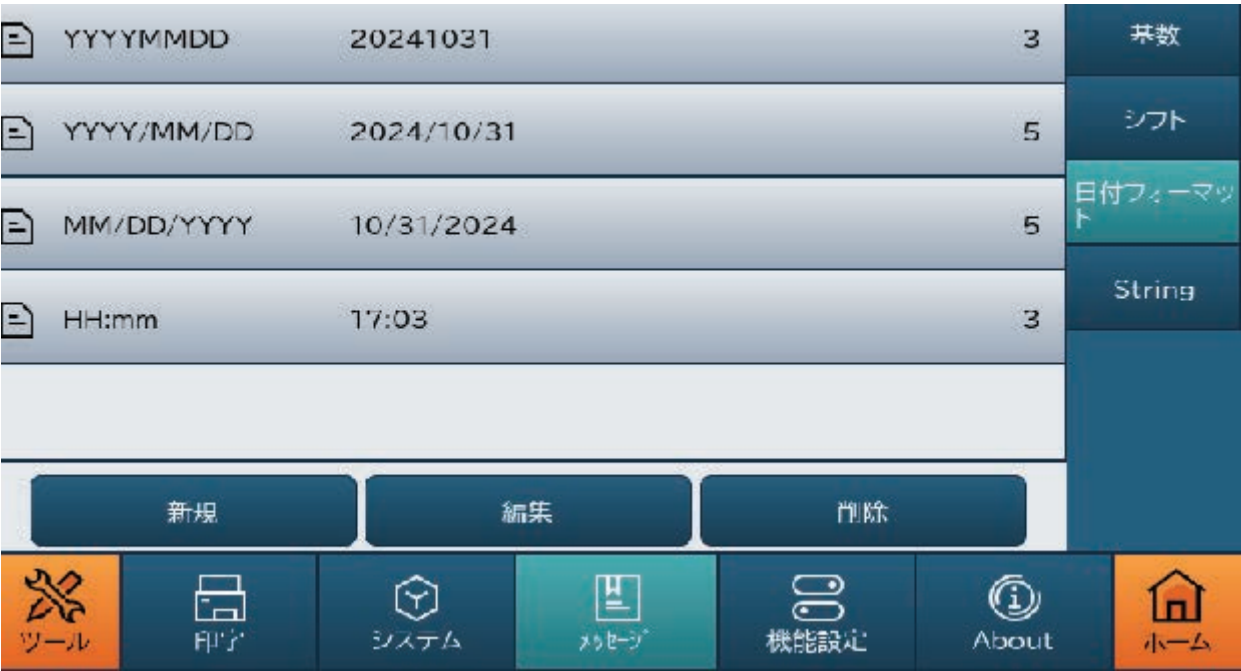


追加：シフト名、シフトの開始時間を設定できます。



5.3.3.2 日付 フォーマット

新規：新しい日付フォーマットが作成できます。



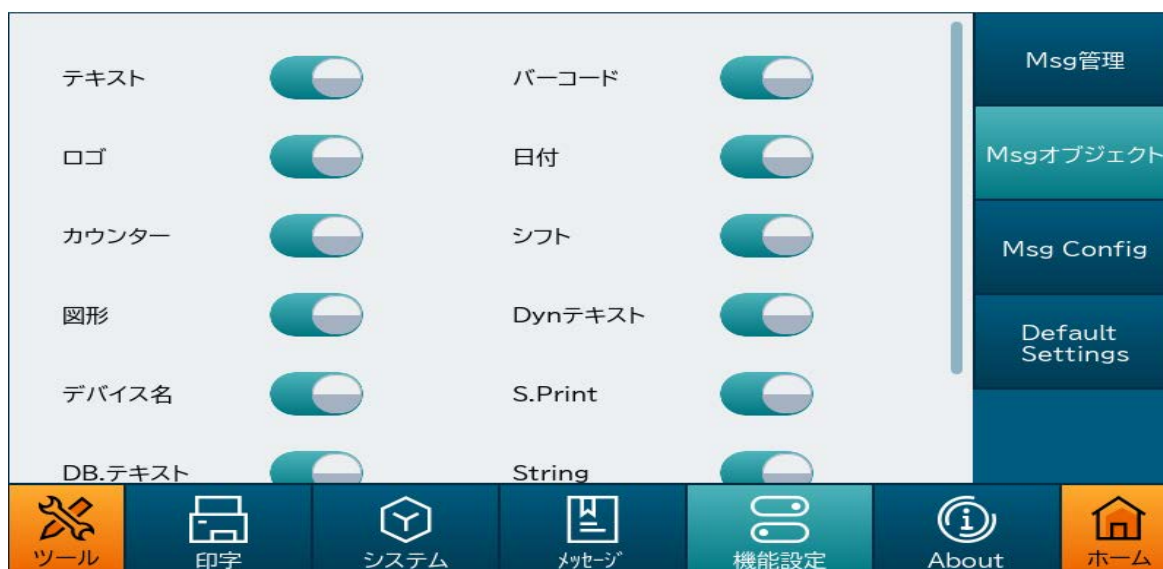
5.3.4 機能設定

5.3.4.1 メッセージ管理



メッセージ管理:すべての機能項目はデフォルトで有効になっています。一部の機能がオフに設定されている場合、機能項目は表示されません。ツールバーを右側に表示するかどうかを設定できます。メッセージ一覧画面には、「切替」、「コピー」、「名前変更」、「サーチ」、「インポート」、「エクスポート」機能が表示されます

5.3.4.2 オブジェクト管理



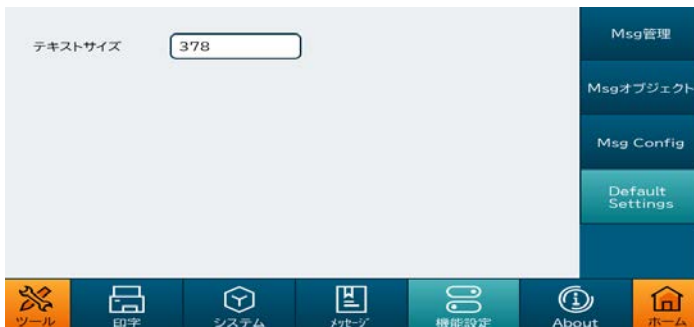
オブジェクト管理:すべてのオブジェクトはデフォルトでオンになっています。一部のオブジェクトがオフになっている場合、そのオブジェクトは表示されません。新規メッセージ画面に「テキスト」、「バーコード」、「GS1」、「ロゴ」、「日付」、「カウンター」、「シフト」、「図形」、「Dny テキスト」、「デバイス名」、「DB テキスト」を設定できます。

5.3.4.3 編集 Config/ Default Setting



すべての機能項目はデフォルトで有効になっています。一部の機能がオフに設定されている場合、機能項目は表示されません。ユーザーは、メッセージ編集画面にメッセージを表示するかどうかを設定できます。

項目は、「複数選択」、「コピー」、「固定」、「整列」。



デフォルトのテキストサイズ変更ができます。
デフォルトサイズは、378 に設定されています。

5.4 ステータスバー



5.4.1 カートリッジ管理



「カートリッジ」アイコン  をタップしてカートリッジ情報を表示します。

また非表示にする場合は、もう一度アイコンをタップしてください。

アイコンの色：

白色：プリントヘッドとカートリッジは正常な状態で、インクは十分にあります。- 通常の状態。

黄色：インクが 95% 以上消費されている - 警告状態。

赤色：カートリッジが挿入されていません。認識されないカートリッジ。またはインクが使い果たされた場合 - エラー状態。

カートリッジ情報： インク SN（シリアル番号）、インク CLT コード、インク タイプ、インク容量、使用されたインクのパーセンテージ、印字可能残数と総印字可能数。

「クリーニング」をタップすると、自動的に少量のインクを吐出させて、プリントヘッドの乾燥を防止します。

5.4.2 フォトセル

フォトセル	
フォトセル検出	エッジ
ステータス	OFF
トータルフォトセルトリガー	0
スキャントリガー	0

スリープ Usb Net システム エンコ... P.C カートリッジ 

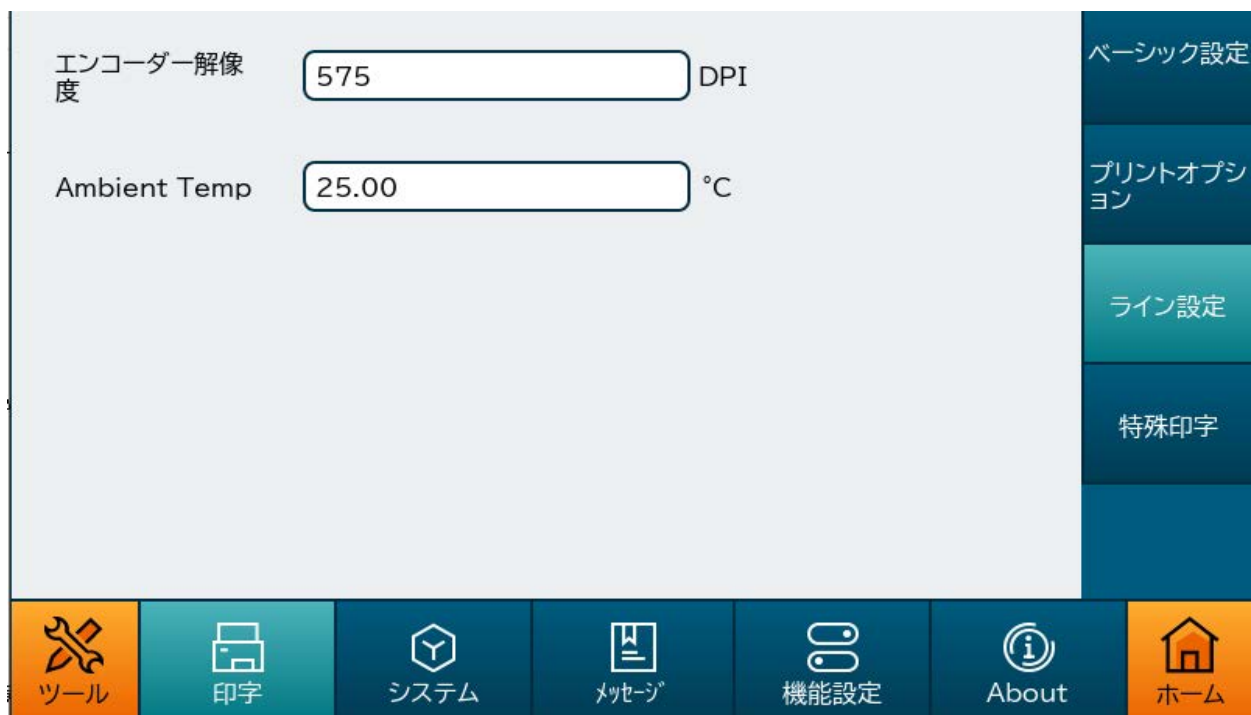
フォトセル：印字対象物を検知するプリンタに内臓されたセンサー。

フォトセルのステータス：

- ・フォトセルアイコンをクリックすると、情報インターフェイスがポップアップ表示されます。
- ・フォトセル オプション：現在のセンサーのタイプを表示します。
- ・フォトセル：現在のセンサートリガータイプを表示します。
- ・ステータス：フォトセルが感知されると「ON」が表示され、フォトセルが感知していない場合、「OFF」が表示されます。

- ・合計フォトセルトリガー数：印字ステータスにおけるセンサートリガーの数を毎回記録します。印字開始スイッチを押すとトリガーカウントが 1 増加します。

5.4.3 エンコーダー



エンコーダー：ラインスピード、印字スピードを検知するプリンタに内蔵されたセンサー。

・速度：エンコーダーが回転していない場合、ラインの速度は0として表示されます。

5.4.4 スリープ



アイコンをタップすると、スリープ状態になります。

スクリーンをタップするとアクティブになります。

5.5 文字入力

入力フィールドをタップすると、キーボードが自動的に入力をポップアップ表示します。



JP/EN

が表示されている場合、日本語入力できます。

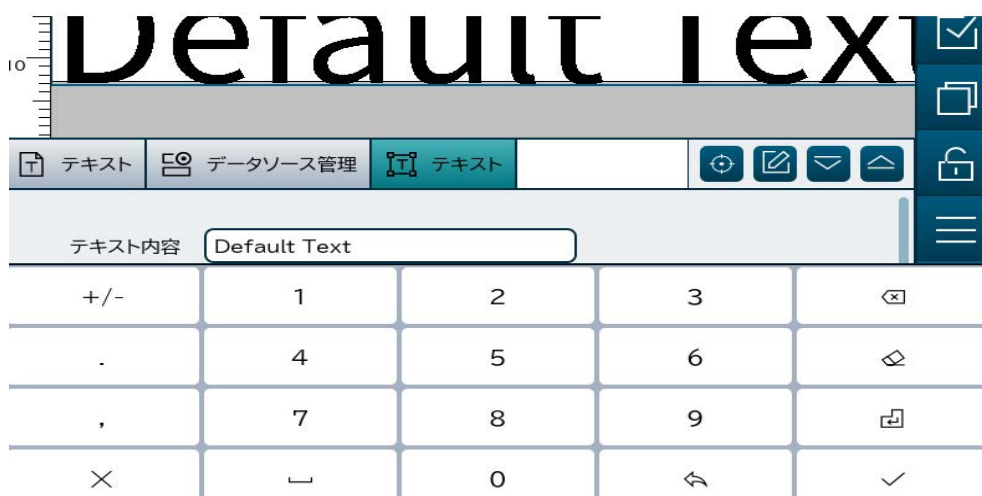
「EN/JP」の場合、英語入力できます。



をタップすると、アルファベットの大文字、小文字が切り替わります。

123

をタップすると、テンキーに切り替わります。



をタップすると、記号入力画面に切り替わります。



一文字ずつ削除



前のキーボードに戻ります



全て削除



キーボードを閉じます。



入力を確認し、キーボードを閉じます。

6. スキャンプリント機能

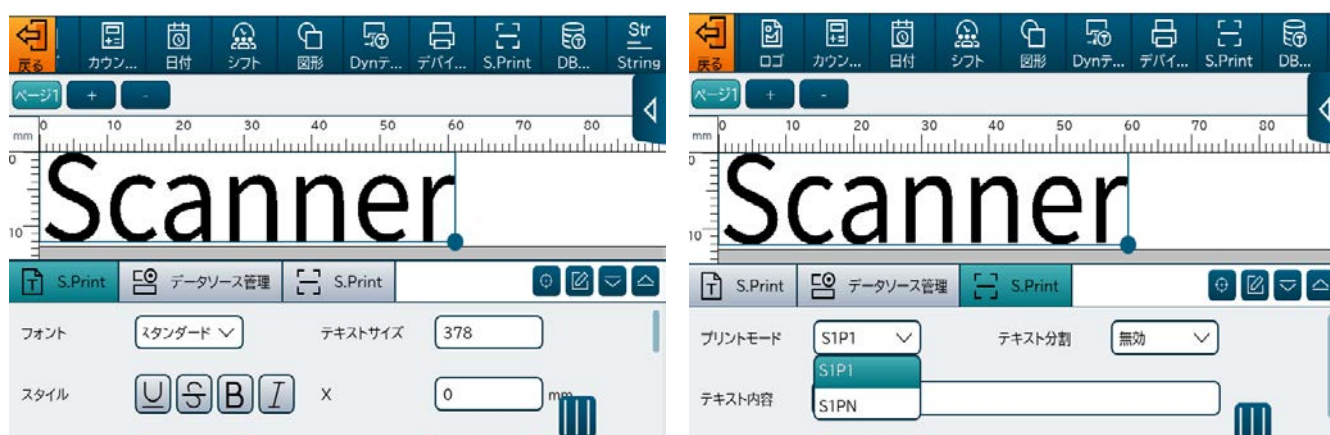
ハンディプリンタに内蔵のスキャナー機能を利用して、バーコード、QRコードの内容を印字したり、スキャンしたバーコード、QRコードを複製して、印字が可能です。

※Scanモデルのみの機能であり、スタンダードモデルには、この機能はありません。

6.1 バーコード、QRコードの内容を印字



をタップするとメッセージに、下記の表示が追加されます。デフォルトでは、「Scanner」と表示されます。「Scanner」の文字サイズを調整することで、スキャンしたバーコード、QRコードの内容の印字の文字サイズを調整することができます。



プリントモード

S1P1 : 1回のスキャンで、1回のみの印字が可能

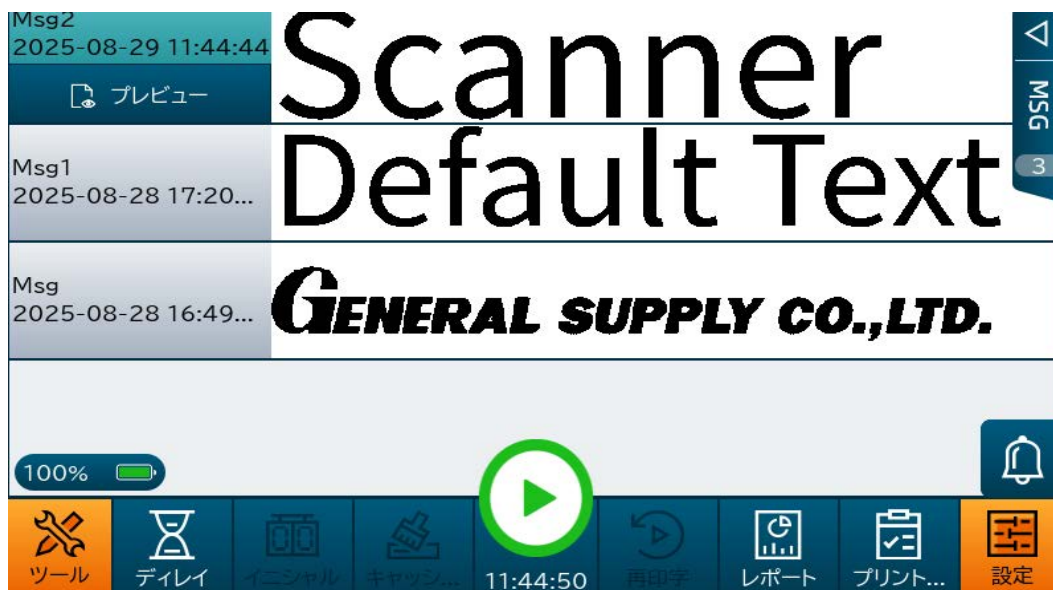
S1PN : 1回のスキャンで、N回の印字が可能（Nは、1～999回の設定が可能）



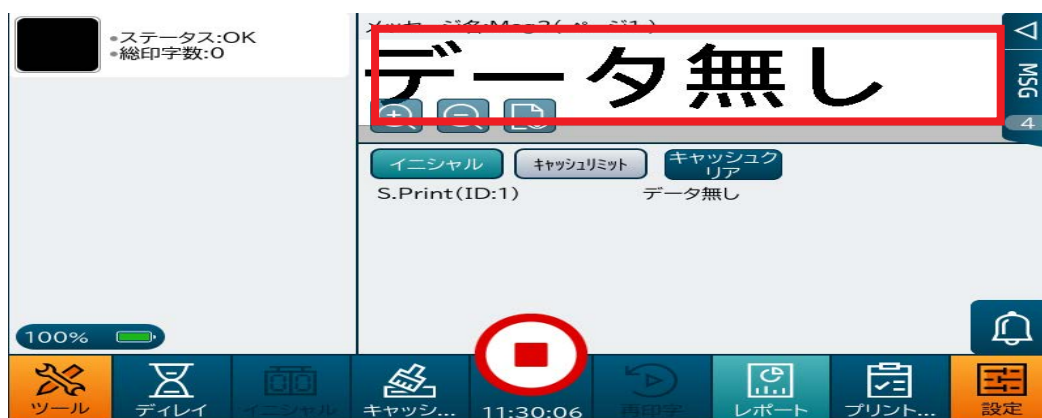
をタップして、保存してください。



作成したメッセージを指定して、 をタップしてください。



下記の表示に移行後、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を2回連続で、引いてください。 スキャナー部分より赤色十字のレーザーが照射されます。そのレーザー光（十字部分）をスキャンしたいバーコード、QRコードに照射して、スキャンしてください。



バーコード、QRコードのスキャンが完了するとメッセージ部分が「データ無し」から、バーコード、QRコードのデータ内容が表示されます。

その後、もう一度、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を1回引き、スライドすることで、バーコード、QRコードのデータ内容を印字することができます。

※QRコードのデータに、漢字、ひらがな、カタカナが含まれる場合、文字コード UTF-8 以外で作成された場合、文字化けして、データ内容をテキスト印字できません。本機で QR コードを印字する場合は、設定画面より「タイプ」を" Binary" を設定して、QR コードを生成し、印字してください。「タイプ」がデフォルトの" Unicode" に設定された QR コードの場合、文字化けして、データ内容をテキスト印字することができません。

6.2 バーコード、QRコードをスキャン、複製したバーコード、QRコードを印字



をタップし、メッセージにバーコードを追加します。フォーマットをドロップダウンして、バーコードの種類を選択します。次にデータソース管理をタップします。

※QRコードを印字したい場合は、ドロップダウンで、「QR Code」を選択してください。

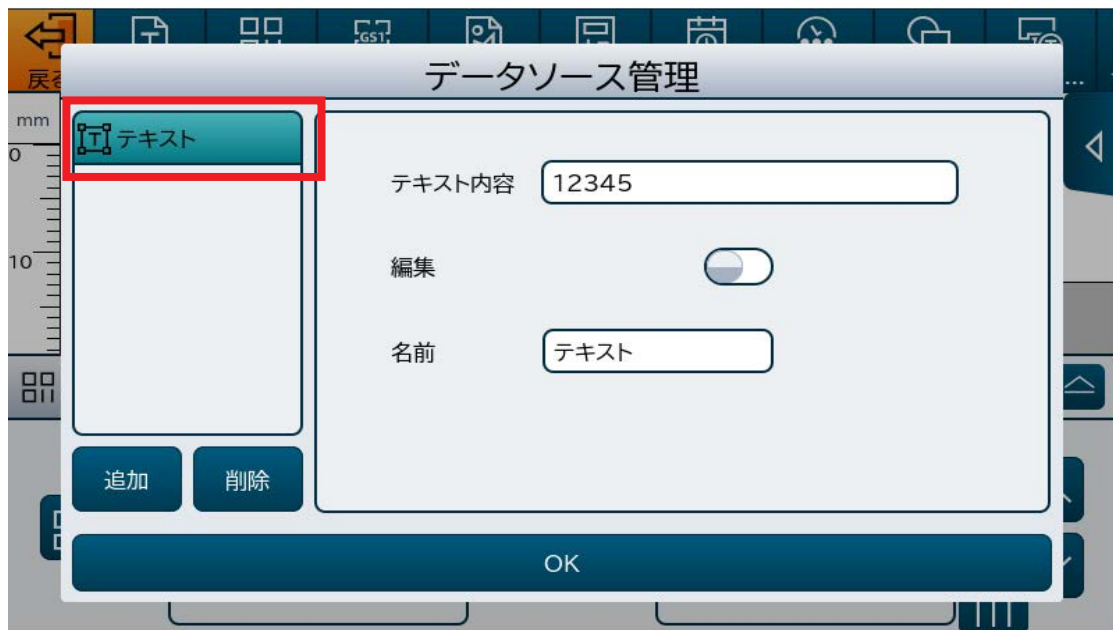
複製、印字可能なバーコードの種類は、Code 39, Code93, Code128, QRコード、一部のバーコードは、対応していません。



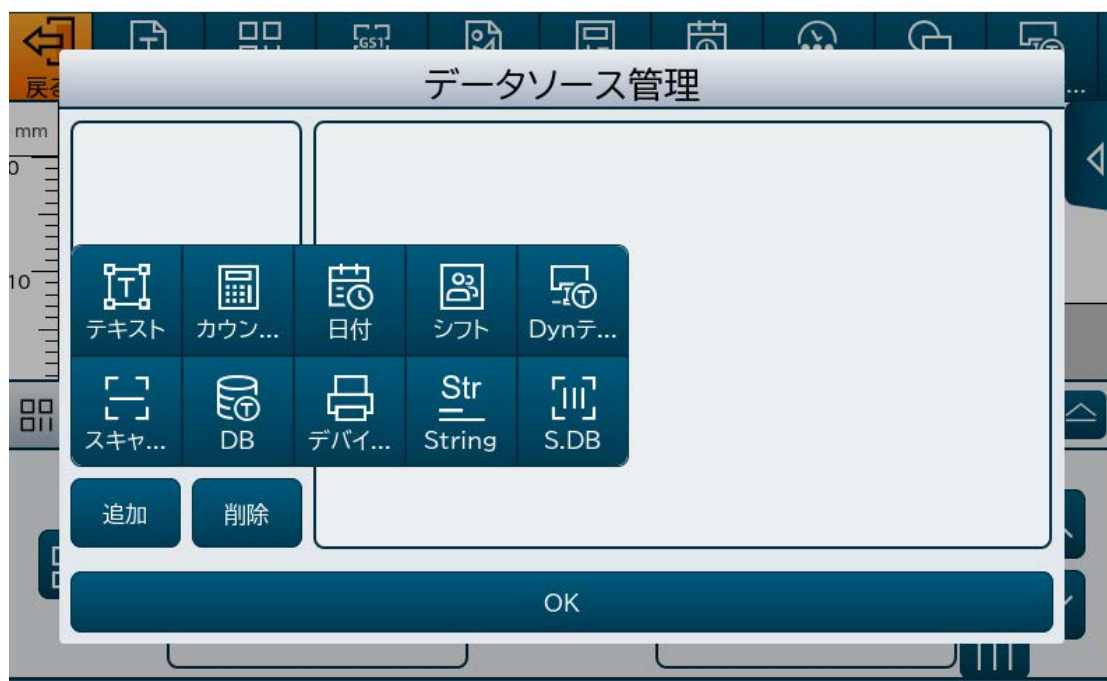
をタップします。

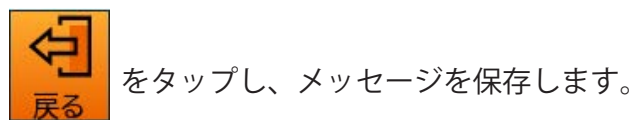
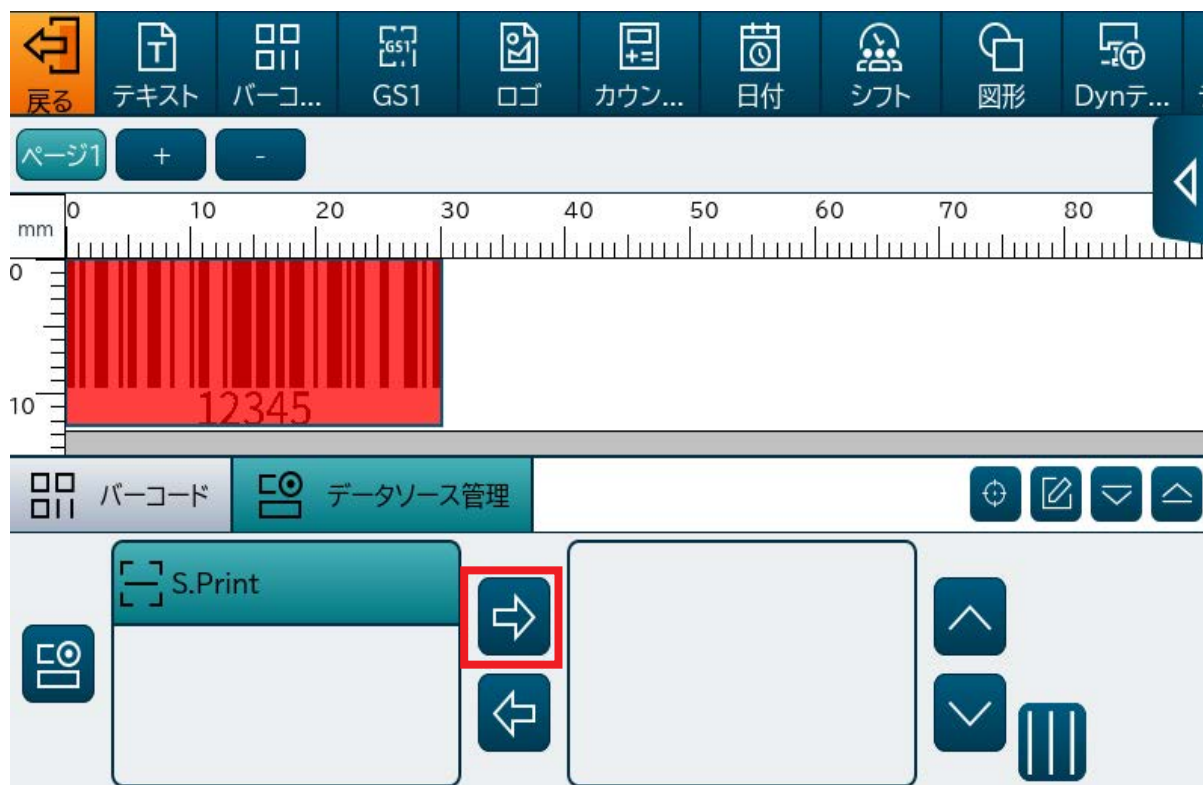
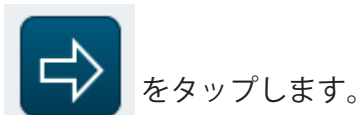


テキスト選択し、**削除** をタップして、削除、その後 **追加** をタップします。

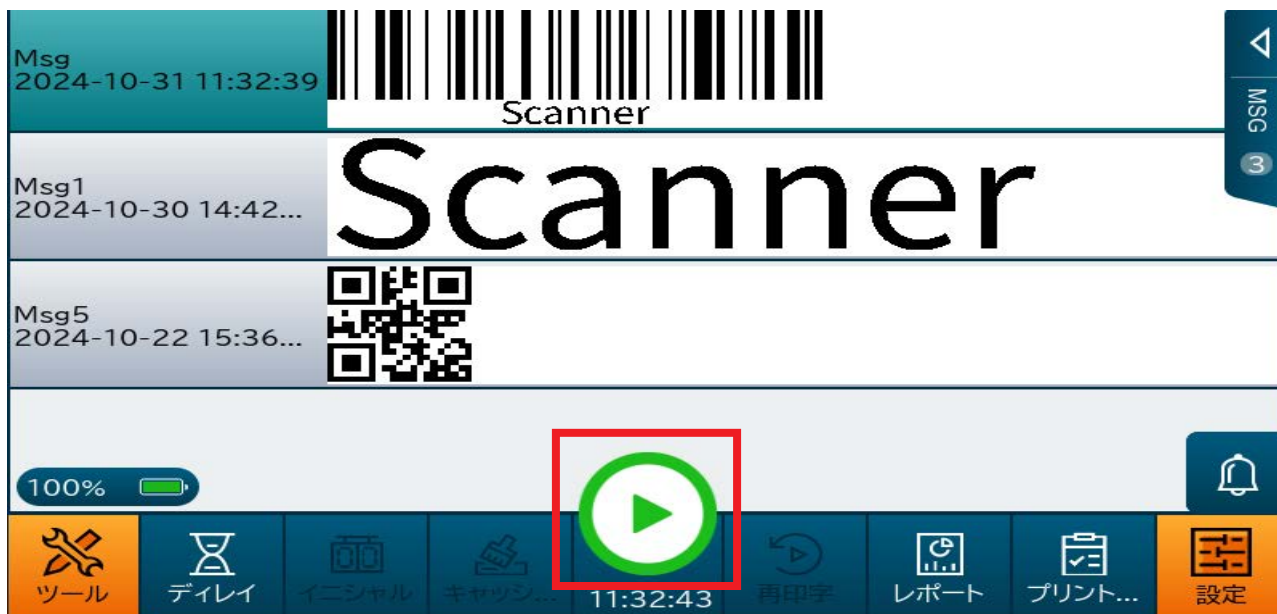


スキャ... をタップし、「OK」をタップします。





先程、作成したメッセージを指定して、 をタップしてください。



下記の表示に移行後、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を2回連続で、引いてください。 スキャナー部分より赤色十字のレーザーが照射されます。そのレーザー光（十字部分）をスキャンしたいバーコード、QRコードに照射して、スキャンしてください。



バーコード、QRコードのスキャンが完了するとメッセージ部分にスキャンしたバーコード、QRコードを複製したバーコード、QRコードが表示されます。その後、もう一度、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を1回引き、スライドすることで、複製したバーコード、QRコードを印字することができます。

6.3 スキャンデータベース

バーコード、QRコードをスキャンし、そのデータにマッチングした CSV ファイルデータを印字することができます。

【CSV ファイル 例】

	A	B	C	D	E	F
1	ABC1	DEF1				
2	ABC2	DEF2				
3	ABC3	DEF3				
4	ABC4	DEF4				
5	ABC5	DEF5				
6	ABC6	DEF6				
7	ABC7	DEF7				
8						

事前に CSV ファイル A 列のデータをバーコード、もしくは QR コード化し、スキャン用のバーコード、もしくは QR コードを印字してください。

また、この CSV ファイルを USB デバイスへ保存し、その USB デバイスをハンディプリンタ本体に挿入してください。

※CSV ファイルのデータに漢字、ひらがな、カタカナ（全角のみ）を含む場合は、必ず、文字コード UTF-8 で、CSV ファイルを作成してください。
(文字コード Shift-JIS 等で作成すると文字化けが発生、印字できません。)



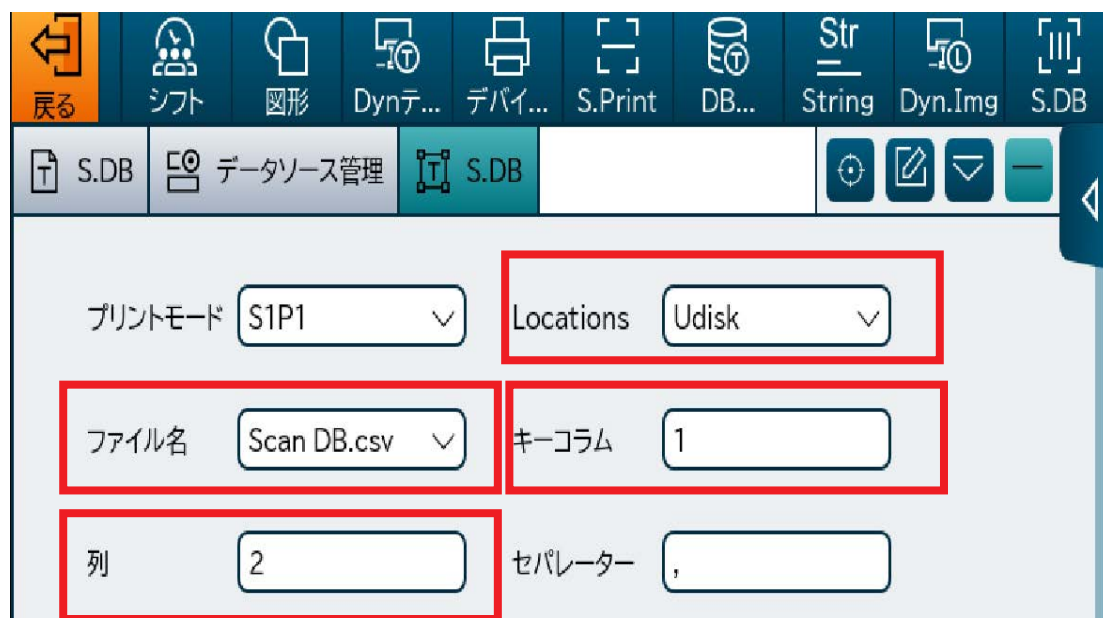
をタップし、メッセージに追加します。次に赤枠の「S.DB」をタップします。



「Locations」 ドロップダウンをタップし「Udisk」を選択、「ファイル名」をドロップダウンで印字したい CSV ファイルを選択します。

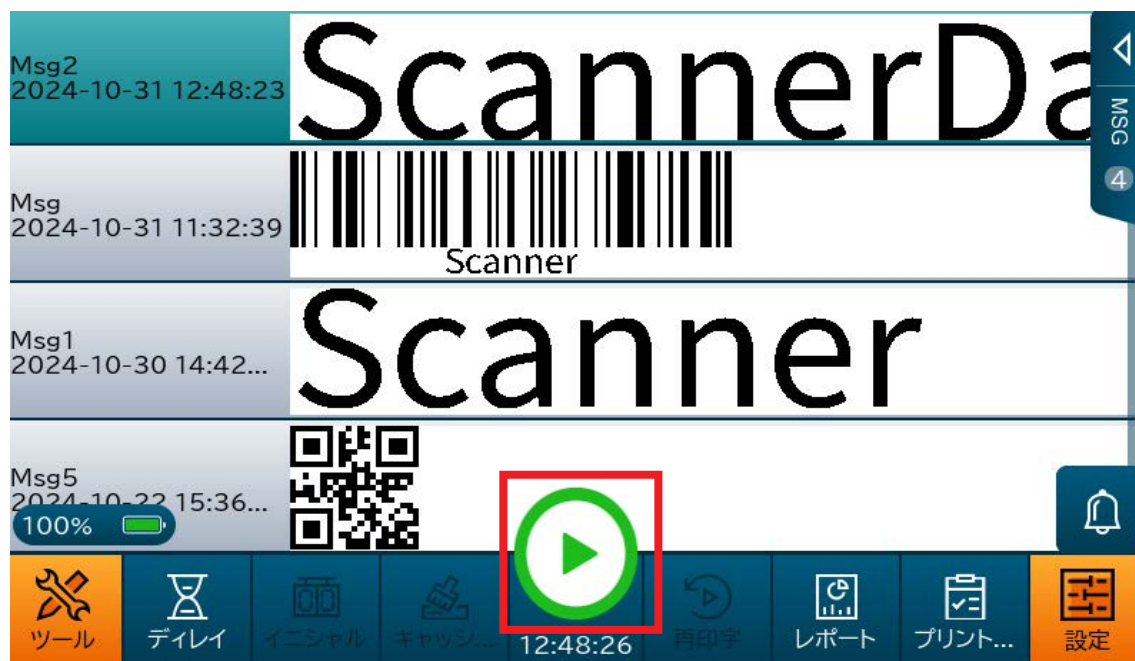
「キーコラム」 事前にスキャン用バーコード、QR コードのデータが入力されている CSV ファイルの列を入力します。「列」 スキャンしたバーコード、QR コードにマッチングした列（印字したい列）を入力します。

例の CSV ファイルの場合、印字したい列は、「B 列」、「列」には、「2」と入力します。（C 列：3、 D 列：4・・・）



をタップし、保存します。

作成したメッセージを指定して、 をタップしてください。



下記の表示に移行後、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を2回連続で、引いてください。 スキャナー部分より赤色十字のレーザーが照射されます。そのレーザー光（十字部分）をスキャンしたいバーコード、QRコードに照射して、スキャンしてください。



バーコード、QRコードのスキャンが完了するとメッセージ部分が「データ無し」から、印字データ内容が表示されます。

その後、もう一度、印字開始スイッチ（オレンジ色のトリガー）を1回引き、スライドすることで、CSVデータを印字することができます。

7. バックアップ・復元



USB デバイスをプリンタへ挿入、
ツール → バックアップをタップ、
名前を入力します。

 をタップ、OK をタップします。

バックアップしたい項目をタップし、
 をタップ、バックアップ完了します。



USB デバイスをプリンタへ挿入、
ツール→バックアップ→復元するをタップし
ます。

 をタップ、OK をタップします。

復元したい項目をタップし、
 をタップ、復元が完了します。

8. トラブルシューティング

No	トラブル内容	解決方法 ①	解決方法 ②	解決しない場合
1	印字に白スジが入る	インクカートリッジのプリントヘッドを埃が出ない柔らかい布で、2～3回、ワイピング（拭き取り）してください。	インクカートリッジのプリントヘッド部分に破損、損傷がある場合、新しいインクカートリッジに交換してください。	購入いただいた販売店もしくは、弊社までお問い合わせください。
2	部分的に印字が白く抜ける。	インクカートリッジをプリンタから取外し、再度、プリンタにセットしてください。	インクカートリッジのプリントヘッド部分に破損、損傷がある場合、新しいインクカートリッジに交換してください。	
3	インクカートリッジが認識しない。「カートリッジエラー！」と表示される。	インクカートリッジを取外し、再度、セットしてください。 専用インクカートリッジをご使用されているかどうか、確認してください。	新しいインクカートリッジに交換してください。	
4	電源が ON にならない。	バッテリーが正しい方向で装着されているか確認してください。取扱説明書の 3.2 を参照してください。	バッテリーの残量を確認してください。バッテリーの残量が少ない場合、バッテリーを充電してください。	
5	全く印字できない	取扱説明書の 4.1 を再度、参照いただき、手順を確認してください。	インクカートリッジが正しく装着されているかどうか、確認してください。	

9. 用語について

No	用語	説明	備考
1	フロント - ディレイ	フォトセルセンサーによって感知される印字対象物から印字の開始までの距離（印字開始位置）を調整する機能です。印字位置の調整に活用できます。	フロント - ディレイを 30mm に設定した場合、印字位置が通常より 30mm 後ろから印字が開始されます。
2	リア - ディレイ	リア - ディレイを 30mm に設定した場合、30mm の長さのみ印字されます。メッセージの残り部分は印字されません。 ※リア - ディレイを設定する場合、ディレイを有効にするためにフォトセルトリガー タイプを「レベル」に設定する必要があります。	
3	水平方向解像度	印字解像度を設定します。印刷の濃さを調整する設定	解像度の値が小さいほど、印字濃度は薄くなります。解像度の値が大きいほど、印字濃度はより濃くなります。
4	ゼロ 設定	日付を変更するために特定の時間設定	ゼロ設定を「08:00」に設定し、日付が 7 月 10 日の場合、7 月 10 日 7:59 以前の印刷日は 7 月 9 日と表示され、8:00 以降の印字日は 7 月 10 日と表示されます。
5	プレパージ	プリントヘッドの乾燥により、印字の滲みなどを防止する機能。	印字開始時に、事前に設定されたプレパージ設定に基づいて、印字の合間にインクを少量吐出させて、ノズルの乾燥を防ぎ、印字品質を安定させます。

No	用語	説明	備考
6	ノズル 設定	インクカートリッジのプリントヘッドの部分のノズル（インクが吐出される部分）は、「右」、「左」の2列あります。デフォルトは「左」です。 ノズルの損傷等により、印字品質が劣化した場合、ノズルを「右」に切替ることができます。また、より印字濃度を濃くする為に「全て」（左右両方のノズル）に設定することも可能です。 ※ノズル設定を変更すると印字開始位置を調整が必要です。	

10. 保証期限について

プリンタ本体：購入後 1 年間

専用インクカートリッジ：HEATLESS INK GS700 購入後 1 年間

10.1 保証範囲

本保証の範囲は、プリンタ本体及びインクカートリッジとなります。

製品に同梱されている付属のバッテリー、充電器は、保証対象外となります。

10.2 保証適用対象外

- ① 不具合品を弊社へ返却いただけない場合。
- ② 不具合内容、製品のシリアル番号、LOT 番号等の情報が確認できない場合。
- ③ ご購入後の輸送、落下、水没等による不具合及び破損の場合。
- ④ 火災、地震、水害等の天災地変等による不具合、破損の場合。
- ⑤ 保証対象判定前に、分解、使用上の誤り、不当な修理・改造による不具合、破損の場合。
- ⑥ 本製品の取扱説明書の仕様、注意書に反するお取り扱いによる不具合、破損の場合。

11. 同梱品

NO	品名	数量
1	TIJ ハンディープリンタ MoTix 1 H 本体	1
2	HEATLESS INK GS700 Black (専用インクカートリッジ)	1
3	18650 バッテリー	4
4	バッテリー充電器	1
5	位置合わせガイド	1
6	ノズルカバー	1
7	ストラップ	1

改訂履歴

	発行日	改訂内容
第 1 版	2024 年 5 月 1 日	初版
第 2 版	2024 年 11 月 1 日	Scan モデル、スキャンプリント機能追加
第 3 版	2025 年 12 月 1 日	システムアップデート 1.5.2 に伴う 機能追加 複数ページ印字、デフォルトテキスト サイズ変更、一部レイアウト変更等

販売元：

ジェネラルサプライ株式会社 WEB: <https://general-supply.co.jp/>



東京支店：〒101-0065 東京都千代田区西神田 1-3-6 TEL:03-5283-8650

大阪支店：〒536-0005 大阪市城東区中央 2-15-20 TEL:06-6930-5301

福岡営業所：〒810-0073 福岡市中央区天神 4-8-2 606 号室 TEL:092-600-8782